

第九十三條ノ九 金融組合聯合會ハ朝鮮總督之ヲ監督ス但シ必要アリト認ムルトキハ道知事ヲシテ其ノ監督權ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得

第九十三條ノ十 登記所ニ金融組合聯合會登記簿ヲ備フ

第九十三條ノ十一 第三條、第四條、第八條乃至第十四條、第十六條、第十八條乃至第二十八條、第二十九條、第三十條、第三十二條、第三十四條、第三十七條乃至第三十七條ノ三、第三十九條乃至第四十五條、第四十五條ノ三乃至第五十條、第五十一條乃至第五十三條ノ二、第五十四條乃至第五十六條、第五十七條第二項、第五十八條、第五十九條、第六十一條乃至第六十三條、第六十五條乃至第七十條、第七十五條乃至第八十六條、第八十八條、第八十九條、第九十條第一項及第九十一條乃至第九十三條ノ規定ハ金融組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第四十六條第一項、第四十七條及第七十五條中組合長及理事トアルハ理事長、第十九條第一項第五號、第三十二條、第三十七條ノ二、第五十五條及第五十六條中組合長、理事、副理事トアルハ理事長、理事、第三十條、第三十七條第二項及第四十七條第二項中道知事トアルハ朝鮮總督トス

第十章 罰 則

第九十四條 第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條 左ノ場合ニ於テハ金融組合ノ組合長、理事、副理事、監事若ハ清算人又ハ金融組合聯合會ノ理事長、理事、監事若ハ清算人ヲ五圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 監督官廳ノ認可ヲ受クヘキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二 登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

四 第九條乃至第十一條、第十八條、第二十一條第二項、第二十九條第二項、第三十九條、第五十條ノ二、第五十條ノ三第二項、第五十二條、第五十三條第五十三條ノ三、第七十一條又ハ第七十五條第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

五 第四十六條第一項若ハ第四十九條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ第四十六條第一項若ハ第四十九條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス、不正ノ記載ヲ爲シ若ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ閱覽セシメサルトキ

六 第四十七條、第六十五條又ハ第八十四條第二項ニ規定スル報告ヲ爲サス又ハ書類ヲ提出セサルトキ

七 公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

八 清算ノ場合ニ於テ第八十一條乃至第八十三條、民法第七十九條若ハ第八十一條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ債權申出期間滿了前ニ債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シタルトキ

九 監督官廳ノ検査ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シ又ハ當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキ

十 本令ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ從ハサルトキ

金融組合令



第九十六條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス  
非訟事件手續法第二百六條 民法第八十四條、第一千零七條及ヒ民法施行法第二十二條及  
商法第十八條第二項、第二百六十二條、第二百六十二條ノ二、第五百三十六條及ヒ商  
法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第  
二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラル  
ヘキ者ノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス

同第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ  
裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ  
當事者及檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ  
有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ  
其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及前審ニ  
於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

同第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此ノ命令ハ執行力ヲ有スル債  
務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ

送達ヲ爲スコトヲ要セス

附 則 (大正三年五月二十二日制令第二十二號)

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

舊令ニ依リ設立シタル地方金融組合ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

前項ノ地方金融組合ハ本令施行後三月以内ニ定款ヲ改正シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第十八條  
及第十九條ノ規定ニ準シ出資ノ拂込及登記ノ手續ヲ爲スヘシ

裁判所前項ノ登記ヲ爲シタルトキハ從前ノ登記ヲ抹消スヘシ

附 則 (大正七年六月二十七日制令第十三號)

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

從前ノ規定ニ依ル地方金融組合登記簿ハ本令ニ依ル金融組合登記簿ト看做シ其登記簿中地  
方金融組合トアルハ金融組合ニ變更セラレタルモノト看做ス

附 則 (昭和四年四月二十七日制令第四號)

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ際現ニ組合員ニ貸付スル資金ノ爲メ手形ノ割引ヲ爲シ又ハ組合員ノ爲ニ其ノ生  
產物ヲ倉庫ニ保管シ若クハ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スル金融組合ハ別ニ第五條第二項又ハ  
第三項ノ規定ニ依ル朝鮮總督ノ認可ヲ受ケスシテ其ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ存スル金融組合及金融組合聯合會ハ本令ノ施行ニ伴ヒ登記スヘキ事項ヲ

金融組合令



本令施行後三月内ニ第二十條第一項ノ規定ニ準シ登記スヘシ  
 本令施行ノ際現ニ組合員ノ有スル出資口數カ百口ヲ超ユル場合ニ於テハソノ百口ヲ超ユル部分ニ付テハ第二十三條第二項ノ規定ヲ適用セス  
 本令施行前金融組合ノ爲シタル契約ニシテ本令ニ依リ金融組合ノ爲スコトヲ得サル業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄乃チ其ノ契約ニ關スル業務ニ限り之ヲ繼續スルコトヲ得本令施行ノ際現ニ在職スル理事ニシテ總會ニ於テ選任セラレタルモノハ第三十一條第三項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ任命シタルモノト看做ス

## 七 朝鮮産業組合令

大正十五年一月制令第二號

### 第一章 總則

第一條 本令ニ於テ産業組合ト稱スルハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲左ニ掲クル事項ノ全部又ハ一部ヲ目的トシテ設立スル社團法人ヲ謂フ  
 一 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト  
 二 産業若ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ組合員ニ賣却シ又ハ産業若ハ經濟ニ必要ナル物ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト

三 組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト  
 第二條 産業組合ノ組合員ハ組合ノ區域内ニ居住スル者ニ限ル  
 第三條 産業組合ノ住所ハ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス  
 第四條 産業組合ノ名稱中ニハ産業組合ナル文字ヲ用フヘシ  
 産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス  
 第五條 産業組合ニハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス  
 第六條 本令ニ規定スルモノノ外産業組合ノ業務ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

### 第二章 設立

第七條 産業組合ヲ設立セムトスル者ハ定款ヲ作り朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ  
 第八條 定款ニハ本令ニ規定アルモノノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ  
 一 目的  
 二 名稱  
 三 區域  
 四 主タル事務所ノ所在地  
 五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

朝鮮産業組合令



- 六 第一回拂込ノ金額
- 七 剩餘金處分ニ關スル規定
- 八 準備金ノ額及其ノ積立ノ方法
- 九 組合員タル資格ニ關スル規定
- 十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定
- 十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由
- 第九條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス
- 第十條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ出資一口ノ金額ノ最高限ハ朝鮮總督之ヲ定ム
- 第十一條 産業組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ
- 第十二條 前條ノ拂込アリタルトキハ二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スヘシ
  - 一 第八條第一號乃至第三號、第五號及第十二號ニ掲クル事項
  - 二 主タル事務所
  - 三 出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額

四 設立許可ノ年月日

五 組合長、理事及監事ノ氏名及住所

前項ニ掲クル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ但シ前項第三號ノ事項ニ付テハ每事業年度末日ノ現在ニ依リ年度終了後一月内ニ登記ヲ爲スコトヲ得

第十三條 前條ノ登記前ニ在リテハ組合ノ設立又ハ登記事項ノ變更ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第十四條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ニ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル其ノ名稱ハ

當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

前項ノ變更アリタルトキハ産業組合ハ遲滯ナク之ヲ登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ登記所ハ登記簿ノ記載ヲ變更スヘシ

第一項ノ規定ハ組合ノ區域及事務所所在地ニ關スル定款ノ規定ニ之ヲ準用ス

第十五條 民法第四十七條及第四十八條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス但シ同法第四十八

條中一週間トアルハ二週間トス

第三章 組合員ノ權利義務

第十六條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

第十七條 組合員ノ責任ハ其ノ出資額ヲ限度トス

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス



第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ

組合員ノ持分ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ組合長ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ組合長ハ二週間内ニ總會招集ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十三條 組合員總會招集ノ手續又ハ其ノ決議ノ方法カ本令、本令ニ基キテ發スル命令又ハ定款ニ違反スルト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ道知事ニ請求スルコトヲ得

第四章 管理

第二十四條 産業組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長

理事 一人又ハ數人

監事 二人以上

組合長、理事及監事ハ總會ニ於テ組員中ヨリ之ヲ選任ス

組合長及理事ノ選任ハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

産業組合設立當時ノ組合長、理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二十五條 組合長、理事及監事ノ選任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第二十六條 組合長及理事ノ任期ハ三年トス但シ定款ヲ以テ任期中ノ最終ノ決算期ニ關スル定時總會ノ終結ニ至ル迄其ノ任期ヲ伸長スルコトヲ得

監事ノ任期ハ二年トス但シ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 組合長ハ産業組合ヲ代表ス

組合長ハ總會ノ議長ト爲ル

組合長事故アル場合又ハ關員ノ場合ニ於テハ定款ノ定ムル所ニ依リ理事之ヲ代理シ又ハ其ノ職務ヲ行フ

第二十八條 組合長及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ業務ヲ執行ス

第二十九條 民法第四十四條第一項、第五十四條、第五十五條、第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス但シ同條中理事トアルハ組合長トス

第三十條 監事ハ其ノ他ノ役員又ハ組合ノ職員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十一條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

第三十二條 組合長及理事關ケタルトキハ總會ノ招集ハ監事之ヲ行フ

朝鮮産業組合令



組合長カ第二十二條第一項ノ規定ニ依ル請求アリタル日ヨリ二週間内ニ正當ノ事由ナクシテ總會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ監事ハ其ノ總會ヲ招集スヘシ

第三十三條 組合カ組合長又ハ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト組合長又ハ理事トノ間ニ於ケル訴訟ニ付亦同シ

第三十四條 第二十四條ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合ニ評議員ヲ置クコトヲ得

評議員ハ評議員會ヲ組織ス

評議員會ハ定款ニ定ムル事項ヲ決議ス

評議員會ノ招集、決議ノ方法其ノ他評議員會ニ關スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第三十五條 總會ノ決議ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十六條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

代理人ハ組合員又ハ同居ノ親族ナルコトヲ要ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第三十七條 組合長ハ定時總會ノ會日ヨリ少クトモ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲クル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第三十八條 組合長ハ前條第一項ニ掲クル書類及監事ノ意見書ヲ定時總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

組合長ハ前項ノ承認ヲ得タルトキハ二週間内ニ其ノ書類ヲ道知事ニ提出シ且貸借對照表ヲ公告スヘシ

第三十九條 産業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第四十條 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

第四十一條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ヲ經朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條 産業組合ハ定款ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 各組合員ノ氏名及住所

朝鮮産業組合令



二 各組合員ノ出資口數

三 出資各口ニ付拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

四 出資各口ノ取得ノ年月日

組合員及組合ノ債權者ハ第一項ニ掲クル書類ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第四十三條 産業組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ

二週間内ニ財産目録及貸借對照表ヲ作ルヘシ

産業組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アルトキハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘ

キ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ

其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十四條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シ異議ヲ述ヘサリシトキハ之

ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレ

ハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十五條 組合員カ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ

前項ノ配當スヘキ剩餘金ノ計算ニ付テハ計算上不便ナル拂込金ノ端數金額ハ之ヲ切捨ツ

ルコトヲ得

第四十六條 産業組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

剩餘金配當ニ關スル制限ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十七條 産業組合ハ定款ヲ以テ定ムル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四

分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十八條 産業組合ハ組合員ノ持分ヲ取得スルコトヲ得ス

第五章 加入及脱退

第四十九條 新ニ組合員ト爲リタル者ハ持分ノ讓受ニ依ル場合ヲ除クノ外定款ノ定ムル所

ニ依リ遲滞ナク第一回ノ出資拂込ヲ爲スヘシ

第五十條 組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但シ三月前ニ其ノ預告ヲ爲スコ

トヲ要ス

前項ノ預告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス

一 組合員タル資格ノ喪失

二 死亡

三 破産

四 禁治産

五 除名

第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

朝鮮産業組合法



除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ評議員ヲ置ク組合ニ在リテハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ以テ總會ノ決議ニ代フルコトヲ得

除名ハ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ拂戻ノ請求權ハ二年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第五十四條 脱退シタル組合員ノ持分ハ其ノ脱退シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム但シ定款ノ定ムル所ニ依リ脱退當時ノ財産ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ出資額ヲ限度トシテ其ノ負擔ニ歸スヘキ金額ヲ拂込ムヘシ

第五十六條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第六章 監督

第五十七條 産業組合ハ朝鮮總督及道知事之ヲ監督ス

第五十八條 監督官廳ハ何時ニテモ産業組合ヲシテ其ノ業務及財産ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ之ヲ検査スルコトヲ得

監督官廳ハ産業組合ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ依リ組合ニ對シ財産ノ供託ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

道知事必要アリト認ムルトキハ府尹、郡守又ハ島司ヲシテ第一項ニ規定スル監督權ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得

第五十九條 組合長及理事ノ關ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ道知事ハ假ニ組合長又ハ理事ヲ選任スルコトヲ得

第六十條 産業組合カ本令、本令ニ基キテ發スル命令若ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、定款ニ違反シタルトキ、公益ヲ害スルノ虞アルトキ又ハ組合ノ事業ノ繼續困難ナルトキハ監督官廳ハ總會ノ決議ヲ取消シ、組合長、理事若ハ監事ノ改選ヲ命シ又ハ組合ノ事業ヲ停止スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ組合ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第七章 解散

第六十一條 産業組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定ムル存立時期ノ滿了又ハ事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 合併

四 組合員ノ缺亡

朝鮮産業組合令



五 破産

六 前條第二項ノ命令

第六十二條 解散及合併ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス

前項ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第六十三條 産業組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十四條 合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル行爲ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十二條第一項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル選任ニ之ヲ準用ス

第六十五條 第四十三條及第四十四條ノ規定ハ産業組合ノ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十六條 産業組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ合併後存続スル組合ニ在リテハ變更ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ在リテハ解散ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ設立シタル組合ニ在リテハ第十二條第一項ノ登記ヲ爲スヘシ

第十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承継ス

第六十八條 産業組合カ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ組合長若ハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ組合長ハ遲滞ナク破産宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第六十九條 解散シタル産業組合債務ヲ完済シ殘餘ノ財産アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ處分ス

第八章 清算

第七十條 清算人ハ就職後遲滞ナク組合財産ノ狀況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り總會ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十一條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合ノ財産ヲ分配スルコトヲ得ス

七十二條 清算事務終リタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作り總會ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十三條 清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ道知事ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十四條 監督官廳ハ清算事務及財産ノ狀況ヲ検査シ、財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他監督上



必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ通知事ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十五條 清算人ハ就職後二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名及住所ノ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記事項ニ變更アリタルトキハ清算人ハ二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第十三條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十六條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク主タル事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ清算人ハ清算ノ願末ヲ監督官廳ニ報告スヘシ

第七十七條 民法第七十三條、第七十四條、第七十八條乃至第八十一條及非訴事件手續法第三百三十八條ノ規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス但シ民法第七十四條中理事トアルハ組合長トス

第九章 登記

第七十八條 産業組合ノ登記ニ付テハ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方法院又ハ其ノ支廳若ハ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第七十九條 登記所ニ産業組合登記簿ヲ備フ

第八十條 第十二條第一項ノ登記申請書ニハ定款ヲ添附スヘシ

第八十一條 登記事項變更ノ登記ノ申請書ニハ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第八十二條 出資一口ノ金額減少ノ登記申請書ニハ其ノ事實ヲ證スル書面ノ外第四十三條第二項ノ規定ニ依リ催告ヲ爲シタルコト及若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第八十三條 産業組合解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ總會ノ決議録ヲ添附スヘシ

前條ノ規定ハ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第八十四條 産業組合朝鮮總督ノ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ其ノ囑託ニ因リテ登記ヲ爲スヘシ

第八十五條 産業組合ニ關シ登記シタル事項ハ裁判所遲滞ナク之ヲ公告スヘシ

第八十六條 非訴事件手續法第四百一條乃至第四百十三條、第四百十七條乃至第四百九條、第五百一條ノ二、第五百十一條乃至第五百十一條ノ四、第五百十一條ノ六、第五百十四條乃至第五百五十七條及第七十五條乃至第七十八條ノ規定ハ産業組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十章 産業組合聯合會

第八十七條 産業組合ハ左ニ掲クル事項ノ全部又ハ一部ヲ目的トシテ道ノ區域ニ依リ産業朝鮮産業組合令



組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

- 一 所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト
  - 二 所屬組合ノ購買スル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セスシテ所屬組合ニ賣却シ又ハ所屬組合ノ購買スル物ヲ生産シテ所屬組合ニ賣却スルコト
  - 三 所屬組合ヲシテ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
- 産業組合聯合會ハ所屬組合ニ對シ業務上ノ指導ヲ爲シ並所屬組合相互ノ聯絡及事業上ノ幹旋ヲ爲スコトヲ得

第八十八條 産業組合聯合會ハ社團法人トス

第八十九條 産業組合聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク

理事長

理事 一人又ハ數人

監事 二人以上

理事長及理事ハ所屬産業組合ノ組合長及理事ノ中ヨリ、監事ハ所屬産業組合ノ監事ノ中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選任ス

理事長及理事ノ選任ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

産業組合聯合會設立當時ノ理事長、理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第九十條 理事長ハ産業組合聯合會ヲ代表シ其ノ業務ヲ執行ス

理事長ハ總會ノ議長ト爲ル

理事ハ理事長ヲ補佐シ理事長事故アル場合又ハ關員ノ場合ニ於テハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ職務ヲ代理シ又ハ其ノ職務ヲ行フ

第九十一條 産業組合力産業組合聯合會ニ加入シ又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第六十二條第一項ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第九十二條 産業組合聯合會ハ朝鮮總督之ヲ監督ス

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ道知事ヲシテ其ノ監督權ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得但シ第五十八條第二項及第六十條ノ規定ニ依ル監督權ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十三條 第三條乃至第二十三條、第二十五條、第二十六條、第二十九條乃至第三十三條、第三十五條乃至第四十二條、第四十五條乃至第五十一條、第五十三條乃至第五十六條、第五十八條第一項、第二項、第五十九條乃至第八十一條及第八十三條乃至第八十六條ノ規定ハ産業組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第二十三條、第三十八條、第七十三條及第七十四條中道知事トアルハ朝鮮總督、第十二條、第二十二條、第二十五條、第二十六條、第二十九條、第三十二條、第三十三條、第三十七條、第三十八條、第五十九條、第六十條、第六十八條及第七十七條中組合長トアルハ理事長トス

第十一章 罰則

朝鮮産業組合令



- 第九十四條 第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第九十五條 左ノ場合ニ於テハ産業組合ノ組合長、理事、監事若ハ清算人又ハ産業組合聯合會ノ理事長、理事、監事若ハ清算人ヲ五百圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス
  - 一 監督官廳ノ認可ヲ受クヘキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケサルトキ
  - 二 登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ
  - 三 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
  - 四 第十一條、第十四條第二項、第二十二條第二項、第三十八條、第四十三條、第四十四條第二項、第四十五條第一項、第四十七條、第四十八條、第六十八條第二項又ハ民法第六十條ノ規定ニ違反シタルトキ
  - 五 本令ニ基キテ發スル命令又ハ定款ニ違反シテ剩餘金ヲ處分シタルトキ
  - 六 第三十七條第一項若ハ第四十二條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ第三十七條第一項若ハ第四十二條第一項ニ掲クル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス、不正ノ記載ヲ爲シ若ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ閱覽セシメサルトキ
  - 七 第五十八條又ハ第七十六條第二項ニ規定スル報告ヲ爲ササルトキ
  - 八 公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ
  - 九 清算ノ場合ニ於テ第七十條乃至第七十二條、民法第七十九條若ハ同法第八十一條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ債權申立期間滿了前ニ債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シタルトキ

- 十 監督官廳ノ検査ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シ又ハ當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキ
  - 十一 監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ
  - 第九十六條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス
- 附則
- 本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

## 七 朝鮮産業組合令施行規則

大正十五年一月府令第四號

- 第一條 産業組合(以下組合ト稱ス)カ其ノ業務ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ届出ツヘシ
- 組合設立ニ關スル費用ハ組合成立ノ後組合費ヲ以テ支辨スヘシ
- 第二條 組合カ主タル事務所以外ノ事務所ヲ設置セムトスルトキハ其ノ名稱、位置及業務ノ種類ヲ定メ道知事ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更シ又ハ事務所ヲ廢止セムトスルトキ亦同シ
- 前項ノ規定ニ依リ設置シタル事務所ニ於テ業務ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ届出ツヘシ



第三條 組合ノ出資一口ノ金額ハ五十圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 組合ノ第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 組合ノ準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第六條 組合ノ剩餘金ノ配當ハ持分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スル外之ヲ爲スコトヲ得ス

持分ノ全部又ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年七分ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ年一割迄之ヲ増加スルコトヲ得

第七條 組合力新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ

第八條 組合ノ業務上ノ餘裕金ハ一時國債證券若ハ地方債證券ヲ買入レ、郵便貯金ト爲シ又ハ朝鮮總督ノ指定スル銀行若ハ金融組合若ハ金融組合聯合會ニ預入ヲ爲スノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

第九條 組合ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十條 組合ノ役員ハ定款ノ規定又ハ總會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス

第十一條 組合借入金ヲ爲サムトスルトキハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ認可申請書ニハ借入金額、利率、期限、償還方法及借入先ヲ記載スヘシ

第十二條 左ノ場合ニ於テハ組合ハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

一 業務、給與、服務及懲戒ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ

二 每事業年度ノ業務上ノ計畫及經費豫算ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ

三 準備金其ノ他ノ積立金ヲ使用セムトスルトキ

四 業務用ノ土地若ハ建物ヲ取得シ又ハ業務用建物ヲ新築、改築若ハ移築セムトスルトキ

キ

五 國債證券又ハ地方債證券ヲ買入レ又ハ之ヲ賣却セムトスルトキ

六 財産目錄ニ掲クル財産ノ價額ヲ増加セムトスルトキ

第十三條 役員ニ異動アリタルトキハ朝鮮産業組合令第二十四條第三項ノ場合ヲ除クノ外其ノ登記前ニ遲滯ナク其ノ事由、氏名及住所ヲ道知事ニ届出ツヘシ

前項ノ届書ニハ總會ノ決議ニ依ラサル場合ニ在リテハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第十四條 組合總會ヲ開カムトスルトキハ少クトモ十日日前ニ會議ノ目的タル事項、開會ノ日時及場所ヲ道知事ニ届出ツヘシ

第十五條 組合ハ毎月實際報告表ヲ調製シ翌月五日迄ニ道知事ニ之ヲ提出スヘシ

第十六條 組合ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 組合員ノ職業別ノ數及出資口數ノ異動



- 二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額
- 三 借入又ハ償還シタル金額及借入金ノ利率
- 四 損益ノ計算
- 五 準備金其ノ他ノ積立金
- 六 總會ノ決議及評議員ヲ置ク組合ニ在リテハ評議員會ノ決議
- 七 事業ノ狀況
- 第十七條 組合ノ公告ハ所轄道廳ノ發行スル道報及組合事務所ニ於ケル揭示場ニ之ヲ爲スヘシ
- 第十八條 組合ノ出資一口ノ金額ノ減少ノ認可申請書及總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ財産目録及貸借對照表ヲ添附スヘシ
- 第十九條 道知事朝鮮産業組合令第五十八條第二項、第五十九條又ハ第六十條第一項ノ規定ニ依リ命令又ハ處分ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨朝鮮總督ニ報告スヘシ
- 第二十條 組合カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出ツヘシ
- 第二十一條 朝鮮産業組合令第六十一條第一號又ハ第四號ノ事由ニ因ル解散ヲ爲シタルトキハ其ノ事由ヲ記載シ解散當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附シ遲滯ナク之ヲ道知事ニ届出ツヘシ
- 第二十二條 合併ノ認可申請書ニハ合併契約書、財産目録、貸借對照表及合併後存續スル

- 組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款並朝鮮産業組合令第六十四條第一項ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
- 第二十三條 組合ノ清算人ハ朝鮮産業組合令第七十條ノ規定ニ依リ總會ノ承認ヲ得タルトキハ財産目録及貸借對照表ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ
- 第二十四條 組合ノ清算人ハ毎月清算事務報告書及貸借對照表ヲ調製シ翌月十日迄ニ朝鮮總督ニ差出スヘシ
- 第二十五條 産業組合聯合會以下聯合會ト稱スルノ出資一口ノ金額ハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス
- 第二十六條 組合ノ加入ヲ承諾シタルトキハ聯合會ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ
- 第二十七條 左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
  - 一 業務、給與、服務及懲戒ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
  - 二 毎事業年度ノ業務上ノ計畫及經費豫算ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキ
  - 三 準備金其ノ他ノ積立金ヲ使用セムトスルトキ
  - 四 國債證券又ハ地方債證券ヲ買入レ又ハ之ヲ賣却セムトスルトキ
- 第二十八條 左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ
  - 一 業務用ノ土地若ハ建物ヲ取得シ又ハ業務用建物ヲ新築、改築若ハ移築セムトスルト

朝鮮産業組合令施行規則



- 二 財産目録ニ掲クル財産ノ價額ヲ増加セムトスルトキ
- 第二十九條 聯合會ハ毎年一回以上所屬組合ニ就キ業務ノ調査ヲ爲スヘシ  
前項ノ調査ヲ爲シタルトキハ其ノ調査ノ要領ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ
- 第三十條 所屬組合カ法令又ハ定款ニ違反シ其ノ他道知事又ハ朝鮮總督ノ處分ヲ必要トスル場合ニ於テハ聯合會ハ其ノ事由ヲ道知事又ハ朝鮮總督ニ具申スヘシ
- 第三十一條 本令又ハ朝鮮産業組合令ニ依リ朝鮮總督又ハ道知事ニ提出スル書類ニシテ總會ノ決議ヲ經ヘキ事項ニ係ルモノハ其ノ決議録ヲ添附スヘシ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員會ノ決議ヲ經ヘキ事項ニ依ルモノニ付亦同シ
- 第三十二條 第一條、第四條乃至第十一條、第十三條乃至第十八條及第二十條乃至第二十四條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第一條、第六條、第十一條、第十三條乃至第十五條及第二十一條中道知事トアルハ朝鮮總督トス

附 則

本令ハ朝鮮産業組合施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三 臺灣産業組合規則

大正二年二月十日 律令第二二號  
 改正大正七年七月四日 律令第一號  
 改正大正九年八月三十一日 律令第二十號  
 改正大正十五年十二月十八日 律令第八號

- 第一條 産業組合ニ關シテハ産業組合聯合會及産業組合中央會ニ關スル規定ヲ除クノ外産業組合法ニ依ル但シ同法中勅令トアルハ臺灣總督府令、主務大臣トアルハ臺灣總督、北海道廳支廳長トアルハ郡守、區裁判所又ハ其ノ出張所トアルハ地方法院、其ノ支部又ハ出張所、市町村トアルハ市街庄又ハ區トス
- 第二條 組合員ノ有スヘキ出資口數ハ特別ノ事由ニ依リ臺灣總督ノ認可ヲ受ケタル場合ニ限リ三十口ヲ超ユルコトヲ得
- 第三條 理事及監事ノ選任及解任ニ付テハ知事又ハ廳長ノ認可ヲ受クヘシ

附 則

(大正七年律令第一號)

本令施行ノ期日ハ臺灣總督之ヲ定ム(大正七年七月府令第四十六號)

附 則

(大正十五年律令第八號)

本令ハ大正十五年十二月二十日ヨリ之ヲ施行ス

臺灣産業組合規則



### 七 臺灣ニ産業組合法第六條ヲ施行ノ件

大正二年二月八日勅令第五號

産業組合法第六條ノ規定ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

附 則

本令ハ大正二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

### 七 臺灣ニ施行スル法律ノ特例ニ關スル件抄

大正十一年九月十八日勅令第四百七號  
改正大正十一年勅令第五百三號  
改正同十二年勅令第五一四號

第二十七條 法人ニ關スル登記事項ニシテ内地ニ於テ生シタルモノニ付テハ其ノ登記期間ヲ二週間伸長ス

### 五 臺灣産業組合規則施行規則

大正二年二月 府令 第六十三號  
改正大正六年十一月 府令 第六十六號  
改正大正九年九月 府令 第八十六號  
改正大正十年十二月 府令 第七十一號  
改正大正十五年十二月 府令 第八十五號  
改正昭和八年三月十一日 府令 第三十三號

第一條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ組合ニ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス  
前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得  
豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最少額ト同額ニ達シタル  
後ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス  
豫約者カ豫約後三年ヲ經過シ尙組合員ト爲ルニ至ラサルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲ス  
ヘシ

第一條ノ二 産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ利用組合ノ設備ニシテ組合員タルコト  
ヲ得サル者ヲシテ利用セシムルコトヲ得ルモノヲ指定スルコト左ノ如シ  
電氣設備、水道、種畜

第一條ノ三 利用組合ハ定款ヲ以テ定ムルニ非サレハ組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ前  
條ノ設備ヲ利用セシムルコトヲ得ス

第一條ノ四 産業組合法第一條第七項ニ組合員タルコトヲ得サル者ト稱スルハ法令若ハ定  
款ノ規定ニ依リ又ハ出資ノ能力ナキ爲組合ニ加入スルコトヲ得サル者ヲ謂フ

第一條ノ五 産業組合法第一條第七項ノ規定ニ依リ設備ヲ利用セシムル利用組合、設立ノ  
許可ヲ申請スル者ハ定款ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ提出スヘシ

一 申請ノ理由

二 設備ノ規模及其ノ能力

臺灣産業組合規則施行規則



- 三 組合員ノ設備利用ノ程度
  - 四 設備ニ關スル事業施行ノ方法
  - 五 設備費
  - 六 一事業年度ノ收支概算
  - 七 組合員數、組合員戶數、區域内戶數及組合員タルコトヲ得サル者ニシテ設備ヲ利用シ得ルモノノ種類別數
- 組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ第一條ノ二ニ依リ指定シタル設備ヲ利用セシムル爲定款ヲ變更セムトスル場合ニ於テハ認可申請書ニ前項第二號乃至第七號ニ掲クル事項ヲ記載シタル書類、財産目錄及貸借對照表ヲ添付スヘシ
- 組合合併ノ際定款ヲ以テ前項ノ事業ヲ行フ旨ヲ定メムトスル場合ニ於テハ其ノ認可申請書ニ第一項各號ニ掲クル事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ
- 第一條ノ六 産業組合法第一條第七項ノ規定ニ依リ設備ヲ利用セシムル利用組合ハ其ノ區域内ニ於ケル組合員タルコトヲ得ル者ノ三分ノ二以上ヲ組合員トスルモノニ限ル
- 第一條ノ七 組合員タルコトヲ得サル者ニシテ第一條ノ二ニ依リ指定シタル設備ヲ利用シ得ル者ハ組合ノ區域内ニ居住スル者ニ限ル但シ左ノ各號ニ掲クル者ハ此ノ限りニ在ラス
- 一 電氣設備ニ在リテハ組合ノ區域内ニ於テ家屋物件ヲ所有シ使用シ又ハ占有シ之カ爲其ノ設備ヲ利用スル必要アル者

- 二 其ノ他ノ設備ニ在リテハ前號ニ掲クル者及定款ヲ以テ規定シタル者
- 第一條ノ八 組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ設備ヲ利用セシムル場合ニ於ケル利用料ハ實費ヲ超ユルコトヲ得ス
- 第一條ノ九 部落其ノ他之ニ準スル區域ヲ其ノ區域トスル産業組合ハ知事又ハ廳長ノ認可ヲ受ケ他ノ産業組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得
- 第一條ノ十 農事實行組合ノ組合員名簿ニハ各組合員ノ氏名及住所ヲ記載スヘシ
- 第一條ノ十一 農事實行組合又ハ産業組合カ産業組合ノ組合員ト爲リタルトキハ其ノ組合員名簿ヲ産業組合ニ提出スヘシ
- 前項ノ組合員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク産業組合ニ之ヲ通知スヘシ
- 第一條ノ十二 産業組合法第十條ノ四ノ規定ニ依リ準用セラルル蠶絲業組合法第二十二條第一項ノ行政官廳ハ知事又ハ廳長トス
- 第一條ノ十三 産業組合法第十條ノ四ノ規定ニ依リ準用セラルル蠶絲業組合法第二十二條第一項ノ規定ニ依ル農事實行組合ノ届出アリタルトキハ知事又ハ廳長ハ農事實行組合ノ名稱、事務所ノ所在地及設立ノ年月日ヲ告示スヘシ其ノ告示シタル事項ニ付變更ノ届出アリタルトキ亦同シ
- 第二條 出資一口ノ金額ハ五十圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス



- 第二條ノ二 保證責任組合ノ組合員ノ保證金額ハ其ノ出資額ヲ下ルコトヲ得ス
- 第三條 出資第一回ノ拂込金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス
- 第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス
- 第五條 組合カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ
- 第六條 總代會ハ五百人以上ノ組合員ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス
- 總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ
- 第七條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス
- 第八條 削除
- 第九條 産業組合法第一條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ受入及拂戻ニ付テハ組合員ノ貯金ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ
- 第九條ノ二 産業組合法第一條第七項ノ規定ニ依ル設備ノ利用ニ付テハ組合員ノ利用ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ
- 第十條 登記又ハ組合原簿ノ記載ニ關スル届出ニハ理事又ハ清算人署名捺印スヘシ
- 前項ノ届書ニハ受附ノ年月日ヲ記載スヘシ知事又ハ廳長ニ於テ受理シタル組合原簿ニ付

亦同シ

- 第十一條 知事又ハ廳長ニ提出スル組合原簿又ハ其ノ記載事項ノ變更ノ届書ニハ記載事項又ハ其ノ變更ニ付監事ノ證明書ヲ添付スヘシ但シ組合員ノ氏名又ハ住所ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第十一條ノ二 登記又ハ組合原簿ノ記載ニ關スル届書ニハ産業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ手續ヲ踐ミタルコトヲ證スル書面ヲ添付スヘシ
- 第十二條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲グル書類ヲ知事又ハ廳長ニ提出スヘシ
- 第十三條 組合ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
  - 一 組合員ノ職業別ノ數並出資口數ノ異動
  - 二 出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額
  - 三 損益ノ計算並借入又ハ償還シタル金額及借入金ノ利率
  - 四 準備金及各種ノ積立金
  - 五 總會又ハ總代會ノ決議
  - 六 事業ノ狀況
  - 七 信用組合ニ在リテハ組合カ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數、受入又ハ拂戻シ

臺灣産業組合規則施行規則



- タル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合員ノ數並貯金及貸付金ノ利率、産業組合法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合ニ在リテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合ニ在リテハ買入若ハ生産又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額、利用組合ニ在リテハ利用ノ程度
- 八 産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ニ在リテハ其ノ貯金者ノ種類別數、受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ノ利率
- 九 産業組合法第一條第四項ノ信用組合ニ在リテハ手形ノ種類別割引枚數、金額及割引歩合、組合員及組合員外ノ職業別及金額別ノ貯金者數及貯金額、受入又ハ拂戻シタル組合員外ノ貯金額及貯金ノ利率、預入先別預入又ハ引出シタル金額及預入金ノ利率並拂戻準備金ノ管理方法別ノ金額
- 十 産業組合法第一條第七項ノ規定ニ依リ設備ヲ利用セシムル利用組合ニ在リテハ組合員タルコトヲ得サル者ノ利用ノ程度ヲ表示スヘキ事項
- 十一 處務ノ要件
- 第十四條 組合カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ每事業年度總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ
- 前項ノ規定ハ信用組合カ一事業年度ニ於ケル一組合員ニ對シテ爲ス貸付額又ハ手形ノ割引金額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ遲滯ナク知事又ハ廳長ニ報告スヘシ

第十五條 定款變更並理事及監事ノ選任及解任ノ認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ決議録ヲ添附スヘシ

第十六條 理事又ハ監事ノ變更ノ届書ニハ監事ノ證明書ヲ添附スヘシ但シ其ノ變更カ總會又ハ總代會ノ決議ニ依ル場合ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第十六條ノ二 産業組合法第十六條ノ六第二項及第三項ノ規定ニ依リ無限責任組合ノ提出スル組合原簿ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十七條 剩餘金ノ配當ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量又ハ拂込ミタル出資額ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

取扱ヒタル物ノ數量、價額其ノ他事業ノ分量ニ對シ配當スヘキ剩餘金ニシテ出資ノ拂込ニ充テサルモノハ拂込ミタル出資額カ出資總額ノ二分ノ一ニ滿タサル場合ニ限り配當スヘキ剩餘金ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

拂込ミタル出資額ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六分ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ年一割二分迄之ヲ増加スルコトヲ得

第十八條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ第十五條ニ掲ケタル書類ノ外財産目錄、貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十九條 産業組合法第十六條ノ六第三項又ハ第五十八條第二項ノ場合ニ於ケル定款變更

臺灣産業組合法施行規則



ノ認可申請書ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ  
 産業組合法第五十八條第三項ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ第十八條ニ掲ケ  
 タル書類ヲ添付スヘシ

第十九條ノ二 産業組合法第五十八條第三項ノ規定ニ依ル定款變更ノ場合ニ於テ組合カ産  
 業組合法第四十條第二項及第四十一條第二項ノ手續ヲ踐ミタルトキハ之ヲ證スル書面ヲ  
 添付シ遲滞ナク其ノ旨ヲ知事又ハ廳長ニ届出ツヘシ

第二十條 産業組合法第六十二條第一項第一號又ハ第四號ノ事由ニ因ル解散ノ届書ニハ其  
 ノ事由ヲ記載シ解散ノ當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添付スヘシ

第二十一條 總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議録、財産目錄及  
 貸借對照表ヲ添付スヘシ

第二十二條 合併ノ認可申請書ニハ第十八條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存續  
 スル組合ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款並産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ於テ  
 ハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ前項ニ掲ケタル書類ノ外總  
 組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第二十二條ノ二 組合繼續ノ認可申請書ニハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アリタルコトヲ  
 證スル書面ヲ添付スヘシ

第二十三條 組織變更ノ認可申請書ニハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添付シ組合員ノ責  
 任ヲ減少スルトキハ尙第十八條ニ掲ケタル書類ヲ添付スヘシ

第二十四條 清算人ノ變更及選任ノ届書ニハ其ノ變更カ總會又ハ總代會ノ決議ニ依ル場合  
 ニ在リテハ其ノ決議録、其ノ他ノ場合ニ在リテハ監事ノ證明書ヲ添付スヘシ

第二十五條 第十二條ノ規定ハ清算人カ産業組合法第七十一條ノ規定ニ依ル承認ヲ經タル  
 場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 清算終了ノ届書ニハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル決算報告書ヲ添付スヘシ  
 第二十七條 郡守カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスル  
 トキハ知事ノ指揮ヲ請フヘシ

第二十八條 知事又ハ廳長カ産業組合法第六十條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ  
 又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨臺灣總督ニ報告スヘシ

第二十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル組合設立許可ノ申請アリタルトキハ知事又ハ廳長ハ  
 其ノ處分ニ付豫メ臺灣總督ノ指揮ヲ請フヘシ

一 醫療設備ヲ有スル組合

二 區域カ郡又ハ市ノ區域ヲ超ユル組合但シ住宅建設ヲ目的トスル組合ヲ除ク

前項ノ規定ハ組合カ其ノ定款ヲ變更シテ同項各號ノ一ニ該當スル組合ト爲ル場合ニ於ケ  
 ル定款變更ノ認可申請ニ付之ヲ準用ス

臺灣産業組合法規則施行規則



前項第二號ニ該當スル組合カ其ノ區域ヲ變更スル場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請ニ付亦同シ

第一項ノ規定ハ組合カ合併ニ因リ同項各號ノ一ニ該當スル組合ト爲ル場合ニ於ケル合併ノ認可申請ニ付之ヲ準用ス

第三十條 本令中知事又ハ廳長トアルハ區域カ州廳ノ區域ヲ超ユル組合ニ在リテハ臺灣總督トス但シ第三十一條ノ規定ニ依リ組合ノ主タル事務所所在地ノ知事又ハ廳長ニ委任セラレタル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス前項ノ規定ニ依リ組合ヨリ臺灣總督ニ提出スヘキ書類ハ主タル事務所所在地ノ知事又ハ廳長ヲ經由スヘシ

第三十一條 産業組合法第六條ノ三第一項ノ規定ニ依ル臺灣總督ノ職權ハ同法第八條、第三十九條第三項、第五十九條、第六十條、第六十一條、第六十二條ノ二第一項及第六十五條ニ規定スルモノヲ除クノ外組合ノ主タル事務所所在地ノ知事又ハ廳長ニ之ヲ委任ス第三十二條 産業組合法第六條ノ三第一項ノ規定ニ依ル臺灣總督ノ職權中同法第五十九條第六十條及第六十一條ニ規定スルモノハ組合ノ主タル事務所所在地ノ知事又ハ廳長ニ於テモ之ヲ行フコトヲ得但シ組合ノ解散ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

## 附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ拂込ミタル出資額以外ノ持分ニ對シ剩餘金ノ配當ヲ行フ旨ヲ定款ヲ以テ

定メタル組合ノ剩餘金ノ配當ニ付テハ大正十五年十二月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ル但シ知事又ハ廳長ノ許可ヲ受ケタルトキハ當分ノ内仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

## 附 則 (昭和八年三月十一日府令第三十三號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和七年法律第三十號附則第二條ノ産業組合ニ於テ同法附則第三條第一項ノ規定ニ依ル組織變更ノ決議アリタルトキハ組合ハ遲滞ナク其ノ決議ニ賛成シタル組合員以外ノ組合員ニ對シ組織變更ニ同意セサル者ハ通知ヲ受ケタル日ヨリ三週間以内ニ其ノ旨ヲ申出ツル場合ニ限り組織變更ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做サル旨ノ通知ヲ爲スヘシ

前項ノ決議ニ賛成シタル組合員以外ノ組合員ニシテ前項ノ期間内ニ又ハ前項ノ通知ヲ受ケタル迄ノ間ニ組合ニ對シ組織變更ニ同意ヲ爲ササル旨ノ申出ヲ爲シタルモノハ組織變更ノ時ニ於テ脱退シタルモノト看做ス

本令施行ノ際現ニ存スル保證責任ノ組合ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ三年ヲ限り第二條ノ二ノ規定ヲ適用セス

## 臺灣産業組合法規則施行規則



### 其 臺灣ニ於ケル市街地信用組合ノ

#### 拂戻準備金管理規程

大正七年七月四日府令第四十七號  
改正大正九年府令第八十七號  
改正大正十年府令第七號

第一條 市街地信用組合ノ拂戻準備金ノ管理ハ左ノ方法ニ依ルヘシ

一 金錢又ハ國債證券ノ供託

二 郵便貯金法ニ依ル貯金又ハ國債證券保管

第二條 削除

第三條 第一條ノ國債證券ノ見積價格ハ事業年度ニ從ヒ毎六月末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 產業組合法第一條第五項ノ規定ニ依ル貯金ヲ取扱フ信用組合ハ事業年度ニ從ヒ六月毎ニ遲滞ナク第一條ノ規定ニ依ル管理ノ手續ヲ爲シ同法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ額ヲ記載シタル書面及管理ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ書面ヲ添ヘ其ノ旨知事又ハ廳長ニ届出ツヘシ

第五條 拂戻準備金ハ知事又ハ廳長ノ承認ヲ受クルニ非サレハ之ヲ引出スコトヲ得ス  
前項ノ承認ノ申請ハ其ノ事由ヲ具シタル書面ニ產業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ現在額並證券ヲ引出スモノニ在リテハ證券ノ種類、記號、番號、券面ノ金額及枚數

ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ爲スヘシ

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 其 行政諸法臺灣施行令抄

大正十一年十二月二十九日勅令第五百二十一號  
(改) 正 九 (回) 略  
改正昭和二年十二月勅令第三百七十八號

第一條 右ニ掲タル法律ハ之ヲ臺灣ニ施行ス  
農業倉庫業法

### 其 臺灣農業倉庫業法施行規則

大正十二年一月一日府令第二號

第一條 農業倉庫業ノ認可申請書ニハ業務規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一 申請ノ理由

二 倉庫ニ於テ取扱フヘキ物品ノ種類別數量ノ豫定

行政諸法臺灣施行令抄 臺灣農業倉庫業法施行規則



- 三 倉庫ノ所在地
  - 四 倉庫ノ棟數、建坪、主要ナル構造又ハ工事及收容力並倉庫經營ニ要スル敷地ノ面積ニ關スル事項
  - 五 倉庫及敷地ハ申請者ノ所有ニ係ルモノナルヤ否ノ別及所有ニ係ラサルモノニ付テハ其ノ使用ノ權利ニ關スル事項
  - 六 倉庫ハ既設ノモノナリヤ否ノ別並新ニ建築、改築又ハ修繕ヲ爲スモノニ付テハ其ノ竣功ノ豫定期日及既設ノモノニ付テハ建築ノ時期
  - 七 倉庫ニ設備スル機械其ノ他附屬ノ設備ニ關スル事項
  - 八 貸付事業ヲ爲ス場合ニ於テハ貸付金總額ノ豫定及其ノ調達方法
  - 九 起業費及一箇年ノ收支概算
  - 十 申請者タル法人ニ於テ農業倉庫業開始ノ決定ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ決定ヲ證スル書面
  - 十一 公益法人及市街庄ニ在リテハ財産目錄及豫算
  - 十二 産業組合ニ在リテハ定款、財産目錄、貸借對照表及設立ノ許可ヲ證スル書面
- 第二條 業務規程ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
- 一 事業ノ種類及農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依ル保管ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨

- 二 保管スヘキ物品ノ名稱
- 三 農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依リ保管スヘキ物品ニ付保管ノ順位ヲ定メタルトキハ其ノ順位並同條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル保管上必要アルトキハ何時ニテモ同條第四項ノ規定ニ依ル保管物ノ出庫ヲ爲サシメ得ヘキ旨及其ノ出庫ノ順位
- 四 保管ノ方法及保管上特殊ノ作業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ作業
- 五 保管料ニ關スル規定
- 六 保管期間ニ關スル規定
- 七 調製改裝又ハ荷造ヲ爲スモノニ在リテハ手数料及副産物ニ關スル規定
- 八 他ノ農業倉庫業者又ハ倉庫業者ニ受寄物ノ寄託ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ旨及寄託スヘキ農業倉庫業者又ハ倉庫業者ノ名稱
- 九 受寄物ノ入庫及出庫ニ關スル規定
- 十 證券發行ニ關スル規定
- 十一 保險ニ關スルアルモノニ付テハ之ニ關スル規定
- 十二 避クヘカラサル事由ニ依ル減量ノ負擔ニ關スル規定
- 十三 受寄物ノ検査ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十四 農業倉庫業法第二條ノ規定ニ依ル事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定
- 十五 産業組合ニ於テ組合員ニ非サル者ニ事業ヲ爲スモノニ在リテハ之ニ關スル規定



十六 剩餘金又ハ損失金ニ關スル規定

第三條 混合保管ヲ爲スモノニ在リテハ前條ノ事項ノ外業務規程中ニ左ノ事項ヲ規定スハ

シ

一 混合保管ノ範圍

二 受寄物ノ返還ニ關スル規定

第四條 農業倉庫業者ニ非サレハ其ノ名稱中ニ農業倉庫ナル文字ヲ用ユルコトヲ得ス

第五條 農業倉庫業者ハ農業倉庫業法第一條第四項ノ規定ニ依リ保管スル物品ニ付テハ同

條第一項乃至第三項ノ規定ニ依リ保管スル物品ト區別シテ整理シタル帳簿ヲ備付クヘシ

第六條 農業倉庫業者倉庫ノ所在地、棟數、建坪、收容力、機械能力及裝置ヲ變更セムト

スルトキハ臺灣總督ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 農業倉庫業者ハ事業年度終了後二月内ニ前年度ノ收支計算書及事業報告書ヲ知事

又ハ廳長ニ提出スヘシ

第八條 農業倉庫業者事業施行ニ關スル規程ヲ設ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ知事又ハ廳長

ニ届出ツヘシ

第九條 農業倉庫業者事業ヲ廢止シタルトキハ臺灣總督ニ、休止シタルトキハ知事又ハ廳

長ニ各其ノ理由ヲ具シ遲滞ナク届出ツヘシ

第十條 農業倉庫業法第六條及第十三條ノ行政官廳ハ臺灣總督トシ同法第十五條ノ行政官

廳ハ臺灣總督、知事又ハ廳長トス

同法第十七條ノ行政官廳ハ倉庫業認可取消ニ付テハ臺灣總督トシ事業ノ停止ニ付テハ臺

灣總督、知事又ハ廳長トス

同法第十六條ノ行政官廳ハ農會又ハ農業者發達ヲ目的トスル公益法人カ農業倉庫業者タル場合ニ於テハ臺灣總督、產業組合及市街庄カ農業倉庫業者タル場合ニ於テハ臺灣總督知事、廳長及郡守

附 則

本令ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年府令第二十一號農業倉庫令施行規則ハ之ヲ廢止ス

### 七 産業組合法ヲ樺太ニ施行スルノ件

大正四年勅令第八十八號ヲ以テ産業組合法中第九條第二項、第七十九條、第六條及第七條ノ規定並ニ産業組合中央會ニ關スル規定ヲ除キ同年六月十八日ヨリ施行

### 八 樺太ニ施行スル法律ノ特例ニ關スル件

大正九年五月三日勅令第二百二十四號

第十四條 産業組合法ニ規定スル登記又ハ届出ヲ爲スヘキ期間ハ之ヲ二倍トシ同法中地方長官ノ職務ハ樺太廳長官、郡長ノ職務ハ樺太廳支廳長之ヲ行フ

### 八二 樺太産業組合法施行規則

大正八年七月二十二日 樺太廳令第二十號

第一條

産業組合設立許可申請書ニハ左ノ事項ヲ具シタル調書ヲ添附スヘシ

一 組合ヲ設立セムトスルニ至リタル動機及組合ノ設立ヲ必要トスル重ナル事由 産業組合法ヲ樺太ニ施行スルノ件



- 二 區域内ニ於ケル金融、重ナル物産ノ販賣及需要品購買ノ狀況其ノ他特殊ノ事情アルトキハ其ノ事情
  - 三 區域内ニ於ケル職業別ノ戸數(同業者ノミチ以テ設立スルモノニ在リテハ同業者ノ數)
  - 四 設立者ノ引受ケタル出資口數
  - 五 事業計劃ノ概要
- 定款ニハ設立者ノ住所及職業ヲ記載スヘシ
- 第二條 産業組合聯合會設立許可申請書ニハ左ノ事項ヲ具シタル調書ヲ添附スヘシ
- 一 前條第一項第一號、第四號及第五號ノ事項
  - 二 設立當初ニ於テ加入スヘキ組合又ハ聯合會カ最近三年間ニ於テ爲シタル毎年度借入金ノ總額並借入ヲ爲シタル組合又ハ聯合會ノ數及最近三年間ニ於ケル毎年度末預金ノ總額又ハ有價證券ノ價額並預金又ハ有價證券ヲ有スル組合又ハ聯合會ノ數
  - 三 設立當初ニ於テ加入スヘキ組合又ハ聯合會カ聯合會ノ取扱フヘキ重ナル物品ニ付最近三年間ニ於テ購買又ハ販賣シタル物品ノ各年度ニ於ケル種目別ノ數量及價額
  - 四 組合又ハ聯合會ノ加入ニ關スル總會決議錄
- 第三條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス
- 前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得

- 豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最少額ト同額ニ達シタル後ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス
- 豫約者カ豫約後三年ヲ經過シ組合員ト爲ルニ至ラサルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ
- 第四條 出資一口ノ金額ハ組合ニ在リテハ五十圓、聯合會ニ在リテハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第五條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス
- 第六條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス
- 第七條 組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ
- 第八條 總代會ハ組合ニ在リテハ百人以上ノ組合員、聯合會ニ在リテハ十以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス
- 總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ
- 第九條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス



- 第十條 組合及聯合會ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第十一條 産業組合法第十六條ノ二第一項ノ屆書ニハ定款ヲ添附スヘシ
- 第十二條 組合又ハ聯合會ハ其ノ貸借勘定及金錢、物品ノ受拂殘高、組合又ハ聯合會ノ財産ニ對スル組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ持分、加工ノ功程設備ノ利用其ノ他事業ノ狀況ヲ明瞭ナラシムルニ必要ナル帳簿ヲ備ヘ事件發生ノ都度之カ整理ヲ爲スヘシ
- 産業組合法第一條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル貯金ノ受入及拂戻ニ付テハ組合員ノ貯金ト區別シテ整理スヘシ
- 第十三條 登記又ハ組合原簿若ハ聯合會原簿ノ記載ニ關スル屆書ニハ理事又ハ清算人署名捺印スヘシ
- 前項ノ屆書ハ樺太廳ニ於ケル受付ノ日ニ到達シタルモノト看做ス組合又ハ聯合會ヨリ提出シタル組合原簿及聯合會原簿ニ付亦同シ
- 第十四條 樺太廳長官ニ提出スル組合原簿、聯合會原簿、又ハ其記載事項ノ變更ノ屆書ニハ記載事項又ハ其ノ變更ニ付監事ノ證明書ヲ添附スヘシ但シ組合員ノ氏名又ハ住所ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第十五條 組合又ハ聯合會ノ財産目錄ハ第一號様式ニ、貸借對照表ハ第二號様式ニ、事業報告書ハ第三號様式ニ、剩餘金處分案ハ第四號様式ニ依リ作製スヘシ
- 第十六條 組合又ハ聯合會ノ理事ハ左ノ一ニ該當スルトキハ直ニ其ノ事由又ハ事項ヲ樺太廳長官ニ届出ツヘシ

- 一 設立許可後一月ヲ經テ出資第一回ノ拂込ヲ完了セサルトキ
- 二 事業執行細則其ノ他ノ規定ヲ設ケ又ハ之ヲ變更シタルトキ
- 三 組合長又ハ聯合會長ヲ選任シ若ハ其ノ變更アリタルトキ
- 第十七條 組合又ハ聯合會ノ理事又ハ監事ハ左ノ一ニ該當シタルトキハ直ニ其ノ狀況ヲ具シ樺太廳長官ニ届出ツヘシ
- 一 拂込済出資金ノ三分ノ一以上ニ相當スル缺損ヲ生シタルトキ
- 二 組合又ハ聯合會カ訴訟ノ當事者ト爲リタルトキ又ハ訴訟確定シ若ハ和解シタルトキ
- 三 理事、清算人若ハ債權者カ破産宣告ノ請求ヲ爲シ又ハ裁判所ヨリ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
- 四 前各號ノ外組合又ハ聯合會ノ存続上重要ナル障礙發生シタルトキ
- 前項第二號及第三號ニ付テハ清算人ニ之ヲ準用ス
- 第十八條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後滯滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲クル書類及決議錄ノ謄本ヲ樺太廳長官ニ提出スヘシ
- 第十九條 理事ハ總會又ハ總代會招集ノ通知ヲ發シタルトキハ其ノ附議事項、日時及場所ヲ記載シ少クトモ開會五日前ニ所轄支廳長ニ届出ツヘシ
- 第二十條 總會又ハ總代會ノ議長ハ左ノ事項ヲ記載シタル決議錄ヲ作り監事又ハ出席組合



- 員二人以上ト共ニ署名捺印スヘシ
- 一 開會ノ日時、場所
- 二 組合員ノ總數
- 三 出席組合員ノ數及委任狀ヲ提出シタル組合員ノ數
- 四 缺席組合員ノ數
- 五 議事ノ要領
- 六 議決シタル事項及賛否ノ數
- 七 閉會ノ日時

第二十一條 組合又ハ聯合會カ借入金ヲ爲サムトスルトキハ毎年總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ決議スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ一事業年度ニ於ケル組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ニ對シテ爲ス貸付額又ハ貸付金ノ利率ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ハ樺太廳長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第二十二條 前條第三項ニ依ル借入額最高限度ノ認可申請書ニハ借入金ノ豫定用途ヲ記載スヘシ  
借入金ヲ前項ノ豫定用途以外ニ充用シタルトキハ理事ハ直ニ其ノ金額及用途ヲ樺太廳長官ニ報告スヘシ

第二十三條 組合又ハ聯合會カ借入金ヲ爲シタルトキハ其ノ借入先、借入年月日、金額、利率及償還期限ヲ、償還シタルトキハ償還先借入及償還年月日及金額ヲ遲滯ナク樺太廳長官ニ報告スヘシ

第二十四條 定款變更認可申請書ニハ理由書及總會又ハ總代會ノ決議錄ヲ添附スヘシ  
定款變更事項中登記事項ニ異動ヲ生スヘキモノアルトキハ決議錄ニ通添附スヘシ

第二十五條 理事又ハ監事ノ變更屆書ニハ其ノ變更力總會又ハ總代會ノ決議ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ決議錄其ノ他ノ場合ニ在リテハ監事ノ證明書ヲ各二通添附スヘシ

第二十六條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ第二十四條第一項ニ掲ケタル書類ノ外財産目錄、貸借對照表、產業組合法第四十條ノ規定ニ依リ公告及催告ヲ爲シタルコト竝ニ同法第四十一條ノ規定ニ依リ異議ヲ述ヘタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證明スル書面ヲ添附スヘシ

第二十七條 剩餘金ノ配當ハ持分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價格若クハ事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年一割二分ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十八條 產業組合法第八十條第一項但書ニ依ル聯合會ノ理事又ハ監事ノ選任認可申請書ニハ總會又ハ總代會決議錄及本人ノ履歷書ヲ添附スヘシ

第二十九條 產業組合法第五十八條ノ場合ニ於ケル定款變更ノ認可申請書ニハ同條第二項



ノ場合ニ在リテハ理由書及總組合員ノ同意ヲ證スル書面、同條第三項ノ場合ニ在リテハ第二十六條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第三十條 組合又ハ聯合會ハ第五號様式ニ依ル指示事項録ヲ備付クヘシ

第三十一條 組合長又ハ聯合會長任期滿了其ノ他ノ事故ニ依リ更迭ノ場合ハ帳簿、書類、金錢及物品ニ目錄ヲ添ヘ之カ受渡ヲ爲スヘシ

前任者ニ於テ前項ノ引繼ヲ爲シ得サル事情アルトキハ他ノ理事代リテ之ヲ爲スヘシ

第三十二條 組合又ハ聯合會ノ簿書中左ニ掲グルモノハ永年其ノ他ノモノハ十年以上保存スヘシ

一 組合員名簿

二 組合又ハ聯合會ノ財産ニ對スル組合員又ハ所屬組合若ハ所屬聯合會ノ持分ヲ記載シタル帳簿

三 定款、諸規程及例規書類

四 令達、申請及指令書類

五 總會又ハ總代會決議錄

六 産業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類

第三十三條 産業組合法第六十二條第一項第一號又ハ第四號ノ事由ニ因ル解散ノ届書ニハ其ノ事由ヲ記載シ解散ノ當時ニ於ケル監事ノ證明書ヲ添附スヘシ

第三十四條 總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ理由書、總會ノ決議錄、財産目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第三十五條 合併ノ認可申請書ニハ第二十六條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存續スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款並産業組合法第六十三條ノ二ノ場合ニ於テハ申請者カ同條ノ規定ニ依リ選任セラレタル者ナルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

産業組合法第六十二條第二項但書ノ規定ニ依ル合併ニ付テハ前項ニ掲ケタル書類ノ外組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第三十六條 組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙第二十六條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第三十七條 第二十五條ノ規定ハ清算人ノ選任及其ノ變更ノ届書ニ之ヲ準用ス

第三十八條 第十八條ノ規定ハ清算人カ産業組合法第七十一條ノ規定ニ依ル承認ヲ經タル場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條 清算了ノ届書ニハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル決算報告書ヲ添附スヘシ

第四十條 樺太廳支廳長カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハム



トスルトキハ樺太廳長官ノ指揮ヲ請フヘシ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年十二月樺太廳令第二十九號ハ之ヲ廢止ス

(様式略ス)

### 八二 關東州及南滿洲鐵道附屬地金融組合令

昭和三年五月二十五日  
勅令第八十九號

#### 第一章 總 則

- 第一條 金融組合ハ組合員ノ金融ヲ緩和シ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル社團法人トス
- 第二條 金融組合ノ組合員ハ組合ノ區域内ニ於テ住所ヲ有スル者ニ限ル但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第三條 金融組合ノ住所ハ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス
- 第四條 金融組合ノ名稱中ニハ金融組合ナル文字ヲ用フルコトヲ要ス
- 第五條 金融組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ金融組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス

- 一 組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト
- 二 組合員ノ爲ニ預リ金ヲ爲スコト

市又ハ關東長官ノ指定スル市街地方組合ノ區域ニ屬スル金融組合ハ組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲スコトヲ得

第六條 金融組合ハ關東長官ノ認可ヲ受ケ組合員ニ非サル者ヨリ預リ金ヲ爲スコトヲ得

第七條 金融組合ハ關東長官ノ認可ヲ受ケ銀行又ハ關東長官ノ指定シタル金融業務ヲ營ム法人ノ業務ヲ代理シ又ハ其ノ業務ノ媒介ヲ爲スコトヲ得

第八條 業務上ノ餘裕金ハ一時關東長官ノ指定シタル有價證券ヲ買入レ、金融組合聯合會若ハ關東長官ノ指定シタル銀行ニ預入シ又ハ郵便貯金ト爲スノ外之ヲ使用スルコトヲ得

第九條 金融組合ハ業務ノ爲必要ナル物件ヲ取得シ又ハ債務辨濟ノ爲物件ヲ引受クル場合ヲ除クノ外動産又ハ不動産ヲ所有スルコトヲ得

第十條 關東長官ハ必要ト認ムルトキハ金融組合ノ業務ヲ制限スルコトヲ得

第十一條 金融組合ニハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第十二條 金融組合ニハ所得税ヲ課セス

第十三條 本令ニ定ムルモノノ外金融組合ニ關シ必要ナル事項ハ關東長官之ヲ定ム

#### 關東州及南滿洲鐵道附屬地金融組合令



第二章 設立

第十四條 金融組合ヲ設立セントスルトキハ定款ヲ作り關東長官ノ許可ヲ受クヘシ

第十五條 定款ニハ別ニ規定スルモノノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ

一 目的

二 名稱

三 區域

四 事務所

五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法

六 第一回拂込ノ金額

七 準備金積立ノ方法

八 組員タル資格ニ關スル規定

九 組員ノ加入及脱退ニ關スル規定

十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

十一 業務ノ執行ニ關スル規定

第十六條 金融組合ハ組員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス

第十七條 出資一口ノ金額ハ十圓以上五十圓以下トシ均一ニ之ヲ定ムヘシ但シ特別ノ事由

アル金融組合ニ在リテハ關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ流通スル銀貨幣ヲ以テ出資ノ額ヲ

定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ出資一口ノ金額ハ十元以上五十元以下トシ均一ニ之ヲ定ムヘシ

第十八條 金融組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク各組員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十九條 前條ノ拂込アリタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スヘシ

- 一 第十五條第一號乃至第五號及第十號ニ掲ケタル事項
- 二 出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額
- 三 設立許可ノ年月日

四 組合長、理事及監事ノ氏名及住所  
金融組合ノ設立ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十條 前條ノ登記事項ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ但シ前條第一項第二號ノ事項ニ付テハ每事業年度末日ノ現在ニ依リ年度終了後一月内ニ登記ヲ爲スコトヲ得

前項ノ登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス  
主タル事務所以外ノ事務所ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ヲ登記セザリシトキハ前項ノ

關東州及南滿洲鐵道附屬地金融組合令



規定ハ其ノ事務所ニ於テ爲シタル行爲ニ付テノミ之ヲ適用ス

第二十一條 行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ登記簿ノ記載ハ變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ更正スルコトヲ妨ケス

行政區劃又ハ土地ノ名稱ノ變更アリタルトキハ金融組合ハ遲滯ナク之ヲ登記所ニ通知スヘシ

第二十二條 民法第四十五條第三項、第四十七條及第四十八條ノ規定ハ金融組合ニ之ヲ準用ス但シ期間ニ付一週間トアルハ二週間トス

第三章 組合員ノ權利義務

第二十三條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ

第二十四條 組合員ノ責任ハ其ノ出資額ヲ限度トス

第二十五條 組合員ハ拂込ムヘキ出資ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十六條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ス

組合員ニ非サル者ニシテ持分ヲ讓受ケントスルトキハ第六十五條第一項ノ例ニ依ルヘシ  
組合員ノ持分ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第二十七條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十八條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十九條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記

載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ組合長ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ組合長ハ二週間内ニ總會ヲ招集スヘシ

第三十條 總會ノ招集手續又ハ其ノ決議ノ方法法令又ハ定款ニ違反シタルトキハ組合員ハ決議ノ日ヨリ一月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ關東長官ニ請求スルコトヲ得

第四章 管理

第三十一條 金融組合ニ組合長一人、理事一人、監事二人以上及評議員七人以上ヲ置ク

組合長、理事、監事及評議員ノ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ關東長官ノ指定スル組合ノ理事ハ關東長官之ヲ任免ス

組合長及理事ノ選任ハ關東長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

組合設立當時ノ組合長、理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ但シ第二項但書ノ理事ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條 監事ハ組合長、理事其ノ他組合ノ職員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十三條 組合長及總會ニ於テ選任スル理事ノ任期ハ三年トシ監事及評議員ノ任期ハ二年トス但シ任期中ノ最終ノ決算期ニ關スル定時總會ノ終結ニ至ル迄其ノ任期ヲ伸長スルコトヲ得

第三十四條 組合長、理事及監事ノ選任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス



- 第三十五條 組合長ハ理事ト共同シテ金融組合ヲ代表ス但シ組合ノ常務ニ付テハ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得
- 組合長又ハ理事ニ對シテ爲シタル意思表示ハ組合ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス
- 組合長ハ總會及評議員會ノ議長ト爲ル
- 組合長事故アルトキハ理事之ヲ代理シ缺員ノ場合ハ其ノ職務ヲ行フ
- 第三十六條 組合長又ハ理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スレコトヲ得ス
- 第三十七條 組合長及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ金融組合ノ業務ヲ執行ス
- 第三十八條 金融組合カ組合長又ハ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト組合長又ハ理事トノ間ノ訴訟ニ付亦同シ
- 第三十九條 組合長及理事ハ定款又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限り或種類又ハ特定ノ事項ニ付他人ヲシテ代理セシムルコトヲ得
- 第四十條 監事ハ金融組合ノ財産及業務執行ノ狀況ヲ監査ス
- 監事ハ組合ノ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ關東長官ニ具申スヘシ
- 第四十一條 評議員ハ評議員會ヲ組織ス
- 評議員會ハ組合長之ヲ招集ス

- 評議員會ハ本令又ハ定款ニ定メタル事項ヲ決議ス其ノ決議ノ方法ハ定款ノ定ムル所ニ依ル
- 評議員ハ金融組合ノ業務ニ關シ組合長ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得
- 第四十二條 定時總會ハ毎年一回定款ニ定メタル時期ニ於テ組合長之ヲ招集ス
- 第四十三條 臨時總會ハ必要アルトキ組合長之ヲ招集ス
- 第四十四條 組合長及理事缺ケタルトキハ總會ノ招集ハ監事之ヲ行フ
- 組合長及理事カ第二十九條ノ規定ニ依ル請求アリタル日ヨリ二週間内ニ正當ノ事由ナクシテ總會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ監事ハ其ノ總會ヲ招集スヘシ
- 第四十五條 總會ノ招集ハ少クトモ十日日前ニ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ各組合員ニ通知ヲ發スルコトヲ要ス
- 第四十六條 總會ニ於テハ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スモノトス
- 第四十七條 總會ノ決議ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス
- 第四十八條 組合員ノ議決權ハ平等トス
- 第四十九條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス
- 代理人ハ組合員又ハ同居ノ家族ナルコトヲ要ス

關東州及南滿州鐵道附屬地金融組合令



代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第五十條 金融組合ハ關東長官ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ハルヘキ總會ヲ設クルコトヲ得

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總會ニ之ヲ準用ス但シ總會ニ於テハ解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第五十一條 金融組合ト或組合員、總代又ハ評議員トノ關係ニ付決議ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ組合員、總代又ハ評議員ハ議決權ヲ有セス

第五十二條 組合長ハ定時總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第五十三條 組合長及理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及監事ノ意見書ヲ定時總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

組合長及理事ハ前項ノ承認ヲ得タルトキハ二週間内ニ其ノ書類ヲ關東長官ニ提出シ且貸借對照表ヲ公告スヘシ

第五十四條 定款ハ總會ノ決議ヲ經關東長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第三十四條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十五條 金融組合ハ定款及總會ノ決議錄ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第五十六條 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 組合員ノ氏名及住所
- 二 各組合員ノ出資口數
- 三 出資各口ニ付拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
- 四 出資各口ノ取得ノ年月日

第五十七條 金融組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

第五十八條 金融組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目録及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アルトキハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス

第五十九條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ

關東州及南滿州鐵道附屬地金融組合令



之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第六十條 金融組合ノ事業年度ハ一年トス

第六十一條 金融組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第六十二條 金融組合ハ缺損補填準備金トシテ其ノ出資總額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

剩餘金ハ拂込出資額ニ應シ年七分以下ノ割合ヲ以テ配當ヲ爲スコトヲ得但シ組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツルコトヲ要ス

第六十三條 金融組合ハ組合員ノ持分ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十四條 金融組合ハ組合長、理事其ノ他ノ代理人カ其ノ職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第五章 加入及脱退

第六十五條 組合員ノ加入ハ評議員會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

新ニ組合員ト爲リタル者ハ定款ノ定ムル所ニ依リ直ニ第一回ノ出資拂込ヲ爲スヘシ

第六十六條 組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退ヲ爲スコトヲ得但シ三月前ニ其ノ豫告ヲ爲スコトヲ要ス

第六十七條 組合員ハ左ノ事由ニ因リ脱退ス

一 組合員タル資格ノ喪失

二 死亡

三 破産

四 禁治産

五 除名

第六十八條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

除名ハ評議員會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其ノ旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其ノ組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十四條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第六十九條 脱退シタル組合員定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

持分ノ拂戻ハ脱退原因ノ如何ニ拘ラス其ノ拂込出資額ヲ超ユルコトヲ得ス

持分ノ拂戻ハ脱退ノ時ヨリ三月内ニ之ヲ爲スヘシ

持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第七十條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合ノ財産カ其ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ出資額ヲ限度トシ其ノ負擔ニ歸スヘキ金額ヲ拂込ムヘシ



第七十一條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其ノ持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第六章 監督

第七十二條 金融組合ハ關東長官之ヲ監督ス

第七十三條 關東長官ハ何時ニテモ金融組合ヲシテ其ノ業務及財産ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ之ヲ検査スルコトヲ得

第七十四條 關東長官ハ金融組合ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ依リ組合ニ對シ財産ノ供託ヲ命シ其ノ他必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第七十五條 組合長及理事ノ缺ケタル爲損害ヲ生スル虞アルトキハ關東長官ハ假ニ理事ヲ選任スルコトヲ得

第七十六條 金融組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル虞アルトキ又ハ金融組合ノ事業カ繼續困難ナリト認メラルルトキハ關東長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ、組合長、理事若ハ監事ノ改選ヲ命シ又ハ組合ノ事業ヲ停止スルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テ關東長官ハ組合ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第七章 解散

第七十七條 金融組合ハ左ノ事由ニ因リ解散ス

一 定款ニ定メタル存立時期ノ滿了又ハ事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 合併

四 組合員ノ缺乏

五 破産

六 前條第二項ノ命令

第三十四條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十八條 總會ノ決議ニ因ル解散又ハ合併ハ關東長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス

第七十九條 金融組合カ第七十七條第一項第一號、第二號又ハ第四號ノ事由ニ因リ解散シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十條第二項及第三項ノ規定ハ解散ノ登記ニ之ヲ準用ス

第八十條 第五十八條及第五十九條ノ規定ハ金融組合ノ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十一條 金融組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續スル組合ニ在リテハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ在リテハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ在リテハ第十九條第一項ノ登記ヲ爲スヘシ

第八十二條 合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シ



タル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第八十三條 金融組合カ其ノ財産ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ法院又ハ領事官ハ組合長及理事若ハ債權者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス金融組合カ其ノ財産ヲ以テ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ組合長及理事ハ直ニ破産宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ要ス

第八十四條 解散シタル金融組合カ債務ヲ完済シ仍殘餘ノ財産アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リテ之ヲ處分スルモノトス

第八章 清算

第八十五條 金融組合ノ清算ハ關東長官ノ監督ニ屬ス

關東長官ハ清算事務及財産ノ狀況ヲ検査シ財産ノ供託ヲ命シ其ノ他必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第八十六條 清算人ハ關東長官之ヲ任免ス

第八十七條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ組合長及理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第八十八條 清算人ハ就職後二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名及住所ノ登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記事項ニ變更アリタルトキハ清算人ハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十條第二項及第三項ノ規定ハ清算人ニ關スル登記ニ之ヲ準用ス

第八十九條 清算人ハ就職後遲滯ナク組合財産ノ狀況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作

リ總會ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第九十條 清算人ハ組合ノ債務ヲ完済シ又ハ完済ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ殘餘財産ヲ處分スルコトヲ得ス

第九十一條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作り總會ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第九十二條 清算カ結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

清算人ハ清算ノ顧末ヲ關東長官ニ報告スヘシ

第九十三條 民法第七十三條及第七十八條乃至第八十一條ノ規定ハ金融組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

第九章 登記

第九十四條 金融組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ヲ管轄スル民政署若ハ民政署又ハ領事館ヲ以テ管轄登記所トス

第九十五條 登記所ニ金融組合登記簿ヲ備フ

第九十六條 第十九條第一項ノ登記ノ申請書ニハ定款ヲ添附スヘシ

關東州及南滿州鐵道附屬地金融組合令



第九十七條 各事務所ノ移轉其ノ他登記事項變更ノ登記ノ申請書ニハ其ノ移轉其ノ他變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第九十八條 出資一口ノ金額減少ノ登記ノ申請書ニハ其ノ事實ヲ證スル書面ノ外第五十八條第二項ノ規定ニ依リ催告ヲ爲シタルコト若異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第九十九條 組合解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ總會ノ決議錄ヲ添附スヘシ

前條ノ規定ハ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第一百條 金融組合カ關東長官ノ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ其ノ囑託ニ因リテ登記ヲ爲スヘシ

第一百一條 金融組合ニ關シ登記シタル事項ハ登記所遲滯ナク之ヲ公告スヘシ

第一百二條 非訟事件手續法第四百一條乃至第四百三條、第四百七條乃至第四百九條、第五百十條乃至第五百一一條ノ六、第五百十四條乃至第五百十七條及第七十五條乃至第七十八條ノ規定ハ金融組合ノ登記ニ之ヲ準用ス但シ司法大臣トアルハ關東州ニ在リテハ關東長官、南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ外務大臣トシ地方裁判所長トアルハ關東州ニ在リテハ高等法院長、南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ領事官トス

第十章 金融組合聯合會

第一百三條 金融組合ハ左ノ目的ヲ以テ金融組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

一 所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト

二 所屬組合ヨリ預リ金ヲ爲スコト

三 所屬組合ニ對シ業務上ノ指導ヲ爲スコト

四 所屬組合相互ノ聯絡及業務上ノ便宜ヲ圖ルコト

第一百四條 金融組合聯合會ハ社團法人トス

第一百五條 出資一口ノ金額ハ五百圓トス

第一百六條 金融組合聯合會ニ理事長一人、理事一人及監事二人以上ヲ置ク

理事長及理事ハ關東長官之ヲ任免ス

監事ハ所屬ノ金融組合ノ役員中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選任ス

監事ノ任期ハ二年トス但シ任期中ノ最終ノ決算期ニ關スル定時總會ノ終結ニ至ル迄其ノ任期ヲ伸長スルコトヲ得

第一百七條 理事長ハ金融組合聯合會ヲ代表シ其ノ業務ヲ執行ス

理事長ハ總會ノ議長ト爲ル

理事ハ理事長ヲ補佐シ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第一百八條 金融組合カ金融組合聯合會ニ加入シ又ハ脫退セントスルトキハ金融組合聯合會總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

關東州及南滿洲鐵道附屬地金融組合令



第九九條 金融組合聯合會ハ所屬ノ金融組合ノ業務及財産ノ實況ヲ調査スルコトヲ得  
 第一百條 登記所ニ金融組合聯合會登記簿ヲ備フ  
 第三十一條 第三條、第四條、第八條乃至第十六條、第十八條乃至第三十條、第三十二條  
 第三十四條、第三十八條乃至第四十條、第四十二條乃至第四十九條、第五十一條乃至第  
 五十七條、第六十條乃至第六十四條、第六十五條第二項、第六十六條、第六十七條、第  
 六十九條乃至第七十四條、第七十六條乃至第七十九條、第八十三條乃至第九十四條、第  
 九十六條、第九十七條、第九十九條第一項及第一百條乃至第一百二條ノ規定ハ金融組合聯合  
 會ニ之ヲ準用ス但シ第三十八條、第三十九條、第四十四條、第五十三條、第六十四條、  
 第八十三條及第八十七條中組合長及理事トアルハ理事長トス

附 則

本令施行ノ期日ハ關東長官之ヲ定ム

### 八三 南洋群島産業組合令

昭和七年九月二十日勅令第二五二號

第一條 産業組合ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外産業組合法(産業組合聯合會及産業

組合中央會ニ關スル規定ヲ除ク)ニ依ル但シ同法中勅令トアルハ南洋廳令主務大臣トアル  
 ルハ南洋廳長官地方長官トアルハ第六條ノ三、第十六條ノ二、第十六條ノ三、(第一項但  
 書ヲ除ク)、第十六條ノ四及第十六條ノ六ノ場合ニ在リテハ南洋廳支廳長、其ノ他ノ場合  
 ニ在リテハ南洋廳長官、區裁判所又ハ其ノ出張所又ハ裁判所トアルハ南洋廳地方法院又  
 ハ登記事務ヲ取扱フ南洋廳支廳長、道府縣ノ區域又ハ市町村ノ區域トアルハ南洋廳支廳  
 ノ管轄區域トシ産業組合法ニ規定スル届出ヲ爲スヘキ期間又ハ組合原簿ノ提出ヲ爲スヘ  
 キ期間ハ之ヲ二倍トス

第二條 産業組合ハ南洋廳長官及南洋廳支廳長之ヲ監督ス

第三條 總會ニ於ケル理事、監事及清算人ノ選任及解任ニ付テハ南洋廳長官ノ認可ヲ受ケ  
 ヘシ

第四條 組員ノ有スヘキ出資口數ハ特別ノ事由ニ依リ南洋廳長官ノ認可ヲ受ケタル場合  
 ニ限リ三十口ヲ超ユルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第六條ノ三ニ關スル規定ハ昭和七年法律第三十號施行  
 ノ日ヨリ之ヲ施行ス

南洋群島産業組合令



【三】 訓令・通牒及處分例



## 【二】訓令・通牒及處分例

### 一 産業組合及産業組合聯合會取扱心得

明治四十二年十一月十五日農第一四八五六號内訓  
改正同四十四年八月二十三日農第一四七〇七號  
改正大正元年九月十九日農第七四三號  
改正同六年十一月一日農第一〇一三號  
改正同十年八月十日農第一〇三四一號  
改正同十五年五月二十五日農第六三四一號  
改正昭和七年十二月七日更一九七四號

第一條 産業組合ノ設立ヲ許可シ又ハ其ノ合併ニ因ル設立アリタルトキハ第二條ノ場合ヲ  
除クノ外左ノ事項ヲ具シ各一箇月分ヲ取纏メ之ヲ報告スヘシ其ノ事項ニ變更ヲ生シタル  
トキ亦同シ

一名 稱  
二區 域

産業組合及産業組合聯合會取扱心得



三 事務所

四 存立時期（自 年 月 日至 年 月 日）

五 設立許可又ハ合併認可ノ年月日

第二條 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引若ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合ノ設立ヲ許可シタルトキ其ノ合併ニ因ル設立アリタルトキ又ハ産業組合カ定款ノ變更若ハ合併ニ因リ産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引若ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合トナリタルトキハ其ノ都度定款ノ謄本ヲ添ヘ其ノ年月日ヲ記載シ之ヲ報告スヘシ  
産業組合聯合會ノ設立ヲ許可シ又ハ其ノ合併ニ因ル設立アリタルトキ亦同シ  
前項ニ掲クル信用組合又ハ産業組合聯合會ノ定款ニ變更アリタルトキハ其ノ都度定款ノ抄本ヲ添ヘ其ノ年月日ヲ記載シ之ヲ報告スヘシ

第三條 左ノ場合ニ於テハ意見ヲ具シ産業組合法施行規則第一條ノ四ニ掲クル書類ノ寫ヲ添ヘ豫メ本省ニ打合スヘシ

- 一 産業組合法第一條第七項ノ規定ニ依ル事業ヲ行フ利用組合ノ設立ヲ許可セントスルトキ
- 二 組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依リ指定シタル設備ヲ利用セシムル爲ニスル定款變更ヲ認可セントスルトキ
- 三 組合合併ノ際定款ヲ以テ前號ノ事業ヲ行フ旨ヲ定メントスル場合ニ於テ合併ヲ認可

セントスルトキ

第四條 産業組合法施行規則第十九條ノ二ノ規定ニ依リ組合又ハ聯合會設立許可ノ申請ニ付指揮ヲ請ハントスルトキハ意見ヲ具シ定款ノ外左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 製絲ヲ爲シ又ハ製絲工場ヲ有スル組合又ハ聯合會ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類

イ 製絲業法施行規則第四條第一項第一號、第二號及第五號ニ掲クル事項

ロ 組合員數（聯合會ニ在リテハ所屬組合數）及其ノ出資口數

ハ 区域内ニ於ケル養蠶戶數及上繭產額並ニ組合員（聯合會ニ在リテハ所屬組合ノ組合員）中養蠶者數及其ノ上繭產額

ニ 繰絲機百五十釜未滿ノ設備ヲ爲サントスルモノニ在リテハ百五十釜以上ト爲シ得サル特別ノ事由

二 醫療設備ヲ有スル組合又ハ聯合會ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類

イ 区域内ニ於ケル總戶數、組合員數（聯合會ニ在リテハ所屬組合數）及出資口數

ロ 醫療設備ノ概要

敷地ノ面積

建物ノ種別、階數及面積

配置及附近略圖

産業組合及産業組合聯合會取扱心得



患者ヲ收容スルモノニ在リテハ其ノ收容定員其ノ他參考トナルヘキ事項

ハ 醫師ノ數、經歷、診療分擔科名及診療ニ從事スル條件

ニ 調劑員、看護員其ノ他ノ診療介助者ノ男女別數及介助ノ内容別

ホ 醫療事業ニ關スル起業費ノ收支概算並ニ事業ノ收支概算

ヘ 診療ニ關スル規程

ト 區域内ニ於ケル診療科別開業醫師數

三 區域カ郡、市又ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區域ヲ超ユル組合ニ在リテハ左ノ事項ヲ記載シタル書類

イ 郡、市又ハ市制第六條ノ市ノ區ノ區域ヲ超ユル區域ヲ必要トスル事由

ロ 組合員數及其ノ分布狀態並ニ出資口數

ハ 事業計畫及事業執行ノ方法

ニ 區域内ニ於テ同種事業ヲ營ム組合アラハ其ノ區域及事業トノ關係

產業組合法施行規則第十九條ノ二第二項及第三項ノ規定ニ依ル認可申請ニ付指揮ヲ請ハントスルトキハ意見ヲ具シ前項ノ書類ノ外最近ニ於ケル財産目錄、貸借對照表及事業報告書ノ寫ヲ添付スヘシ

第五條 昭和七年農林省令第三十三號（產業組合法第六條ノ三ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部委任ニ關スル件）第一條各號ニ掲クル組合ノ設立ノ許可又ハ定款ノ變更、繼續、

解散若ハ合併ノ認可ニ付申請書ノ提出アリタルトキハ地方長官關係地方長官ト協議ノ上其ノ願末及意見ヲ具シ其ノ申請書ヲ進達スヘシ

前項ノ規定ハ昭和七年農林省令第三十三號第三條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ職權ノ一部委任アリタル聯合會ニ付之ヲ準用ス產業組合法第七十九條第二項ノ規定ニ依ル聯合會ノ合併認可ニ付亦同シ

第六條 產業組合又ハ產業組合聯合會ノ解散アリタルトキハ左ノ事項ヲ具シ產業組合ニ在リテハ一箇月分ヲ取纏メ產業組合聯合會ニ在リテハ其ノ都度之ヲ報告スヘシ

- 一 名 稱
- 二 解散ノ原因、總會ノ決議ニ因ル場合ニ在リテハ尙其ノ決議ヲ爲スニ至リタル事情
- 三 解散ノ年月日
- 四 政府融通資金借入金ノ有無、若シ有ラハ各資金別未償還金額及其ノ償還ニ關スル見込

第七條 前年七月一日ヨリ當年六月三十日迄ノ間ニ事業年度ノ終了シタル產業組合ノ當該事業年度ニ於ケル狀況ヲ左ノ區分ニ從ヒ様式第一號ニ依リ毎年九月三十日迄ニ報告スヘシ

- 一 產業組合總括概況
- 二 信用組合概況（單營）

產業組合及產業組合聯合會取扱心得



- 三 販賣組合概況(單營)
- 四 購買組合概況(單營)
- 五 利用組合概況(單營)
- 六 信用事業ヲ行フ産業組合概況
- 七 販賣事業ヲ行フ産業組合概況
- 八 購買事業ヲ行フ産業組合概況
- 九 利用事業ヲ行フ産業組合概況
- 第八條 産業組合及産業組合聯合會ノ前年十二月三十一日現在ニ於ケル種類別及組織別數ヲ様式第二號ニ依リ毎年一月十五日迄ニ報告スヘシ
- 第九條 産業組合及道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會ニ付毎年六月三十日及十二月三十一日現在ノ狀況ヲ様式第三號ニ依リ各翌月末日迄ニ報告スヘシ
- 第十條 産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依リ手形ノ割引若ハ貯金ノ取扱ヲ爲ス信用組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合法施行規則第十條ノ規定ニ依リ書類ヲ差出シタルトキハ遲滞ナク其ノ謄本ヲ組合又ハ聯合會毎ニ差出スヘシ
- 第十一條 産業組合彙帳及産業組合聯合會彙帳ヲ備ヘ左ノ事項ヲ記載スヘシ
  - 一 名稱
  - 二 組織

- 三 區域
  - 四 事務所
  - 五 目的
  - 六 設立許可ノ年月日
  - 七 出資一口ノ金額
  - 八 出資拂込ノ方法
  - 九 保證責任組合ニアリテハ保證金額ニ關スル規定
  - 十 存立時期
  - 十一 事業年度
  - 十二 解散ノ事由及年月日
  - 十三 清算結了ノ年月日
  - 十四 理事及監事ノ氏名及住所
- 理事及監事ノ氏名及住所ヲ記載スヘキ帳簿ハ之ヲ別ニ作成スルヲ妨ケス
- 第十二條 本内訓ニ依ル報告又ハ書類ノ提出ハ大正六年勅令第二百號ニ依リ農林大臣及大藏大臣ノ所管ニ係ルモノニ付テハ各別ニ之ヲ爲スヘシ

様式 第一號

産業組合及産業組合聯合會取扱心得



甲 產業組合總括概況ノ一 (總組合數)  
何々組合 概況 (總組合數)

調査事項	調査組合數							
	事業	農	林	工	商	水産	其ノ他	計
備考	組合員數	法人數 同上組合員數						
	上欄組合員數中當該產業組合ノ組合員ニ非サル者ノ數	人 人 人 人 人 人 人						

產業組合及產業組合聯合會取扱心得

拂込濟出資額	出資總額	出資口數							
		農	林	工	商	水産	其ノ他	計	
匯	匯	農事實行組合	法						
		養蠶實行組合	產業組合	人					
		其他	計						







貸出金 (信用事業)		損益	
前年度未現在額 年度貸出額 内償還額 本年度未現在額		前年度未現在額 年度内損失金 前年度ヨリ繰越損失金 本年度ヨリ繰越損失金 損失金 利益金 前年度ヨリ繰越金 年度内利益金 本年度ヨリ繰越金	
前年度未現在額 年度内貸出額 内償還額 本年度未現在額		前年度未現在額 年度内損失金 前年度ヨリ繰越損失金 本年度ヨリ繰越損失金 損失金 利益金 前年度ヨリ繰越金 年度内利益金 本年度ヨリ繰越金	
事實ノ存セサル組合		事實ノ存セサル組合	

餘裕金		年度末現金		年度末現金		年度末現金	
前年度未現在額		本年度未現在額		前年度未現在額		本年度未現在額	
前年度未現在額		本年度未現在額		前年度未現在額		本年度未現在額	
事實ノ存セサル組合		事實ノ存セサル組合		事實ノ存セサル組合		事實ノ存セサル組合	







- 合概況又ハ利用事業ヲ行フ産業組合概況ニハ貸出金以下ノ事項ニ付テノ記載ヲ省略スルコトヲ得
- 六 事實欄ニ記載スヘキ事項ニシテ別段ノ規定ナキモノハ最近年度末現在ニ依リ之ヲ記載スルコト
  - 七 本表中本年度トアルハ最近年度ヲ謂フ
  - 八 事業年度ヲ六箇月トスル組合ニ在リテハ本表中前年度トアルハ最近年度ノ前々年度トシ、年度内トアルハ最近年度及其ノ前年度ノ二事業年度内トス
- 乙 産業組合總括概況ノ二  
(イ) 信用事業

調査事項	取扱組合數	事	實	備	考
貸		前年度末現在	無擔保件數	金額	調査組合數
		本年度末現在	有擔保件數	金額	
		前年度末現在	無擔保件數	金額	調査組合數
		本年度末現在	有擔保件數	金額	
		前年度末現在	無擔保件數	金額	調査組合數
		本年度末現在	有擔保件數	金額	

出		金	
貸付金	右利率	手形割引	
前年度末現在 本年度末現在	前年度末現在 本年度末現在	前年度末現在 本年度末現在	前年度末現在 本年度末現在
前年度末現在 本年度末現在	前年度末現在 本年度末現在	前年度末現在 本年度末現在	前年度末現在 本年度末現在
前年度末現在 本年度末現在	前年度末現在 本年度末現在	前年度末現在 本年度末現在	前年度末現在 本年度末現在

産業組合及産業組合聯合會取扱心得



金		貯	
右利率	産業組合第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金	右利率	産業組合第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金
内年度 最高 普通 最低	前年度未現在人員金額 本年度未現在人員金額 本年度未現在人員金額	内年度 最高 普通 最低	前年度未現在人員金額 本年度未現在人員金額 本年度未現在人員金額
調査組合數	調査組合數	調査組合數	調査組合數

貯		貯	
右歩合	組合員ノ貯金	右利率	豫約者ノ貯金
内年度 最高 普通 最低	前年度未現在人員金額 本年度未現在人員金額 本年度未現在人員金額	内年度 最高 普通 最低	前年度未現在人員金額 本年度未現在人員金額 本年度未現在人員金額
調査組合數	調査組合數	調査組合數	調査組合數























販賣購買組合							
販賣利用組合							
購買利用組合							
販賣購買利用組合							
信用販賣組合							
信用購買組合							
信用利用組合							
信用販賣購買組合							
信用販賣利用組合							
信用購買利用組合							
信用販賣購買 利用組合							
計							

(注意)

産業組合法第二條第一項各號ニ掲クル組合アル場合ニ於テハ其ノ數ヲ各種類別ニ附記スル  
コト

乙 産業組合聯合會數

種 類	有限責任	保證責任	計
信用組合聯合會			
販賣組合聯合會			
購買組合聯合會			
利用組合聯合會			
販賣購買組合聯合會			
販賣利用組合聯合會			
購買利用組合聯合會			
販賣購買利用組合聯合會			

産業組合及産業組合聯合會取扱心得







計	裕	
	現	有價證券
計	金	金

(注意)

- 一 販賣高購買高及利用料ノ記載ニ付テハ何レノ組合モ事業年度ノ如何ニ拘ラズ毎年一月一日ヨリノ累計高ヲ、其ノ他ノ事項ニ付テハ調査ニ於ケル現在高ヲ記載スルコト
- 二 販賣高中ニハ農業倉庫ノ事業トシテ取扱ヘル販賣高ヲ合算スルコト
- 三 前年同期ニ比シ甚シキ増減ヲ示セルモノアリタルトキハ其ノ理由ヲ備考欄ニ記載スルコト

其ノ二 道府縣ヲ區域トスル信用組合聯合會ノ狀況

出資總額	種目	金額	備考

計	餘			貸出金	資轉運			
	現	有價證券	預		計	貯	借	準備金及諸積立金
計	金	金	金	金	金	入	金	金

(注意) 前年同期ニ比シ甚シキ増減ヲ示セルモノアリタルトキハ其ノ理由ヲ備考欄ニ記載スルコト

産業組合及産業組合聯合會取扱心得



二 産業組合及産業組合聯合會ノ財産目錄  
 貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分  
 案樣式ニ關シ通牒ノ件

昭和八年一月十一日更第一八九號農林省  
 經濟更生部長、大藏省銀行局長通牒

産業組合法施行規則第十條ニ依リ産業組合又ハ産業組合聯合會ヨリ差出スヘキ財産目錄、  
 貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ハ自今別記樣式ニ準シテ作成セシメ候様致度尙同  
 條ニ依リ之ヲ差出スニハ之ヲ承認シタル總會又ハ總代會ノ狀況ヲ附錄樣式ニ依リ作成ノ上  
 添付セシムル様取計相成度依命此段及通牒候也

追テ大正十年八月十日農局第一一六九號農務局長銀行局長通牒ハ此際廢止相成候ニ付御  
 承知相成度申添候

第一 産業組合

甲 財産目錄 (信用組合ノ例其ノ他ノ組合モ之ニ準ス)

資 産

拂込未済出資金	口	數	何	○
貸出金總額	件	數	何	○
内 貨付金	件	數	何	○
當座貸越金	枚	數	何	○
割引手形	種類及各金額	何	何	○
預 金	種類及各金額	何	何	○
有 價 證 券	種類及各金額	何	何	○
土 地	地目及各面積	何	何	○
建 物	所在棟數及坪數	何	何	○
什 器	種類及各點數	何	何	○
何 々		何	何	○
現 金		何	何	○
合 計		何	何	○
貯 金 總 額		何	何	○
組合員貯金	組合員數	何	何	○
豫約者貯金	豫約者數	何	何	○

財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案樣式



譯内	法第一條第三項ノ規定	人	員	何	圓
譯内	ニ依ル組合員外貯金	團	體	何	圓
譯内	法第一條第四項ノ規定	員	數	何	圓
譯内	ニ依ル組合員外貯金	員	數	何	圓
借入金總額				何	圓
譯内	借入金	件	數	何	圓
譯内	當座借越金	件	數	何	圓
譯内	再割引手形	枚	數	何	圓
未拂利息		件	數	何	圓
貯金利息支拂備金		件	數	何	圓
未經過利息		件	數	何	圓
未經過割引料		件	數	何	圓
何				何	圓
合				何	圓
差				何	圓
引				何	圓

(注意) 土地又ハ建物ニ付事業用ノモノト然ラサルモノトアル場合ニ於テハ之ヲ區別シタル内譯

ヲ記載スルコト  
乙 貸借對照表(信用組合ノ例其ノ他ノ組合モ之ニ準ス)

種目	貸	種目	借
拂込未済出資金	方	出資金	方
貸出金總額		準備金	
譯内		特別積立金	
定期貸付金		貯金總額	
年賦貸付金		据置貯金	
當座貸越金		定期貯金	
割引手形		當座貯金	
預金		特別當座貯金	
有價證券		通知貯金	
土地		何	
建物		借入金總額	
什器			

財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案樣式  
四八五







二 保證責任組合ノ保證金額カ出資一口ニ付均一ナラサルトキハ其ノ概略ヲ附記スルコト  
 二 組合員タル法人數及出資口數

法人別	前年度末現在		本年度末現在	
	法人數	出資口數	組合員數	法人數
農事實行		口	人	
組養實行				口
産業組合				人
其ノ他人				
計				人

(注意)

一 組合員數欄ニハ法人ヲ構成スル組合員ノ數ヲ記載スルコト  
 二 備考欄ニハ法人ヲ構成スル組合員ニシテ本産業組合ニ未タ加入セサル者ノ數ヲ記載シ、尙其ノ他ノ法人ニ付テハ其ノ法人名ヲ記載スルコト

三 出資拂込

年度別	各自拂込	剰餘金ヨリノ拂込	合	計
前年度末現在		円		円
本年度拂込				
本年度拂戻				
本年度末現在				

(注意)

一 剰餘金ヨリノ拂込欄ノ本年度拂込ハ前年度剰餘金處分ニ依リ配當セラレタル剰餘金ヲ記載スルコト  
 二 本年度拂戻ハ本年度脱退者ノ拂込済出資額ヲ記載スルコト  
 四 準備金及各種積立金

區別	前年度末現在	本年度積立	本年度處分	本年度末現在
準備金	円	円	円	円

財産目録、貸借對照表、事業報告書及剰餘金處分案様式



特別積立金	
何々積立金	
計	

(注意)

本年度積立及本年度處分ノ金額ニ付テハ其ノ積立テ又ハ處分シタル種目別ノ金額ヲ附記シ尙處分ニ付テハ其ノ理由ヲ記載スルコト

五借入金

(一) 借入金(當座借越金及手形ノ再割引ヲ除ク)及其ノ償還

借入先	前年度末現在	本年度借入	本年度償還	本年度末現在
産業組合				
中央金庫				
信用組合				
何銀行				
何々				

計	
---	--

(二) 當座借越金及其ノ償還

借越先	前年度末現在	本年度借越	本年度償還	本年度末現在
産業組合				
中央金庫				
信用組合				
何銀行				
何々				
計				

(三) 手形ノ再割引及其ノ決済

再割引先	前年度末現在	本年度再割引	本年度決済	本年度末現在
産業組合				
中央金庫				

財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式















(注意) 農業倉庫業ニ伴フ利益及損失ヲモ含メテ記載スルコト但シ農業倉庫業ニ伴フ特殊ノ勘定科目ハ之ヲ明記スルコト

八 總會又ハ總代会ノ決議ノ要領

總會又ハ總代会ノ種類、開會ノ時期、施行規則第十二條ノ借入額貸付額又ハ手形ノ割引金額ノ最高限度餘裕金預入先其ノ他一切ノ決議ノ要領ヲ記載スルコト

九 事業ノ狀況

貸付、貯金、手形ノ割引、販賣、購買、設備ノ利用、農業倉庫、資金ノ需用等ノ狀況ヲ記載スルコト

十 處務ノ要件

官廳ヘノ申請、報告、届出、官廳ノ検査、命令、登記其ノ他處務ニ關スル重要ナル事項ヲ記載スルコト

其ノ二 信用組合ニ關スル事項

一 貸出 金

(一) 貸付金(當座貸越金及割引手形ヲ除ク)及其ノ償還

區別	前年度末現在		本年度貸付		本年度償還		本年度末現在		備考
	數件	金額	數件	金額	數件	金額	數件	金額	
無擔保									
有擔保									
計									
内法人ノ分									

(注意)

- 一 物上擔保貸付ニ非サル貸付ハ無擔保貸付中ニ算入スルコト
  - 二 脱退者ニ對スル貸付金ニシテ未タ償還ヲ受ケサルモノヲ包含スル場合ニハ其ノ件數及金額ヲ備考欄ニ特載スルコト
  - 三 貸付金ニシテ銷却シタルモノハ各其ノ件數及金額ヲ備考欄ニ記載シ本年度償還欄ニハ包含セシメサルコト
- (二) 當座貸越金及其ノ償還

財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案樣式



内 法 人 ノ 分	計	有 擔 保	無 擔 保	區 別		前 年 度 末 現 在		本 年 度 貸 越		本 年 度 償 還		本 年 度 末 現 在		備 考
				數 件	金 額	數 件	金 額	數 件	金 額	數 件	金 額			
				件	円	件	円	件	円	件	円	件	円	

(注 意) 本表ノ記載ニ付テハ其ノ二ノ一ノ(一)ノ注意ニ準スルコト

(三) 年度内擔保別貸付金

種 類	件 數	金 額	備 考
土 地	件	円	
建 物			
土 地 建 物			

有 價 證 券	其 ノ 他	計

(注 意)

- 一 本表ニハ年度内ニ於ケル累計ヲ記載スルコト
- 二 當座貸越金ハ本表ニ包含スルコト
- 三 土地ト建物ト併セ擔保トスル場合ハ土地建物欄ニ記載シ其ノ他二種以上ヲ併セ擔保トスル場合ニ於テハ其ノ主ナルモノニ包含セシメ記載シ備考欄ニ各物ノ種類ヲ記載スルコト

(四) 年度内用途別貸付金

經 濟 用	產 業 用	件 數	金 額
		件	円

財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式







(八) 手形ノ割引及其ノ決済

計	爲替手形		約束手形		枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額	枚數	金額
	有擔保	無擔保	有擔保	無擔保								
					枚	円	枚	円	枚	円	枚	円

(注意) 本表ノ記載ニ付テハ其ノ二ノ一ノ(一)注意ニ準スルコト

二 貯 金

(一) 貯金ノ受入及其ノ拂戻

區 別	前年度末現在		本年度受入		本年度拂戻		本年度末現在	
	人員又ハ團體數	金額	金額	金額	金額	人員又ハ團體數	金額	
組合員ノ貯金		円		円			円	
内法人ノ分								
豫約者ノ貯金								
法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金								
其ノ他								
計								
法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金								
合計								

(注 意) 組合員ノ貯金中脱退者ノ貯金ニシテ未タ拂戻ヲナササルモノヲ包含スル場合ニハ其ノ人員及金額ヲ附記スルコト  
 (二) 年度末現在職業者別貯金

財産目録、貸借対照表、事業報告書及剩餘金處分案様式



計	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	區別			
											人員	金額		
												農業	人員	金額
												林業	人員	金額
												工業	人員	金額
												商業	人員	金額
												水産業	人員	金額
												其他	人員	金額
												合計	人員	金額

- (注意)
- 一 組合員ト同一ノ家ニ在ル者ノ貯金ニ付テハ其ノ組合員ノ職業該當欄ニ記載スルコト
  - 二 法人ノ貯金ハ之ヲ除クコト
  - 三 年度末現在金額別貯金

計	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	業一 業二 業三 業四 業五 業六 業七 業八 業九 業十	區別		
												人員	金額	
												以三千 以上	人員	金額
												二千以 上	人員	金額
												千圓以 上	人員	金額
												五百圓 以上	人員	金額
												百圓以 上	人員	金額
												百圓未 滿	人員	金額
												合計	人員	金額
												一人當 平均貯	人員	金額

(注意)

法人ノ貯金ハ之ヲ除クコト

三 年度内貸付金及貯金ノ利率並ニ割引歩合

財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式

五〇七



最低	普通	最高	區別	
			貸付金	貯金
			組合員ノ貯金	貯金
			産業組合法第一條第三項ノ規定ニ依ル貯金	貯金
			産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル貯金	貯金
			定期貯金	貯金
			割引	割引

(注意)

- 一 定期貯金ヲ除ク他ノ貯金ノ各欄ニハ總テ定期貯金ヲ含メテ算出スルコト
- 二 利率又ハ割引歩合ハ年利ニ換算シテ記載スルコト
- 三 普通ハ貸付金貯金又ハ手形割引ノ件數最モ多キモノノ利率又ハ歩合ニ依ルコト
- 四 拂戻準備金

金銭供託又ハ郵便貯金	區別		金額備考
	枚數	面高	
	枚	金額	円
			円

合計	供託又ハ保管				聯合會貯金	産業組合中央金庫貯金
	計	何々	産業債券	地方債證券		

(注意)

證券ノ金額欄ニハ其ノ見積價額ノ合計ヲ記載シ、備考欄ニハ證券ノ單價其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ記載スルコト

其ノ三 販賣組合ニ關スル事項

一 受入又ハ販賣シタル物ノ數量及價額

財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式



種目	前年度末現在		本年度受入		本年度販賣		本年度末現在	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
(受託)		円		円		円		円
小計								
内法人ノ分								
(買取)								
小計								
内法人ノ分								
合計								
内法人ノ分								

(注意)

- 一 數量ノ單位ハ穀物ニ付テハ石、鹼ニ付テハ貫、肥料ニ付テハ噸ヲ以テ記載スルコト
  - 二 本年度受入及本年度末現在ノ價額ハ受託販賣ノ場合ニ於テハ記入ヲ要セス
  - 三 本表ニハ販賣組合ニ於テ取扱ヒタル販賣高ノミヲ記載シ農業倉庫ノ事業トシテ取扱ヘル販賣高ハ之ヲ除外スルコト
- 二 販賣シタル物ノ販賣先別數量及金額

種目	販賣組合		其ノ他ノ産業		其ノ他		備考
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
聯合會經由		円		円		円	
組合及聯合會							
計							

(注意)

數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號及第三號ニ準スルコト  
 財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式  
 五一



三 販賣代金ノ假渡

五二二

種 目	件 數	數 量	金 額	利率(年利)
計			円	割

(注意)

數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト  
四 加工物細別

種 目	加工後ノモノ		加工前ノモノ		備 考
	目 數	量 種	目 數	量	
計					

(注意)

一 加工前ノモノノ數量ニハ未ダ加工ヲ了ラサルモノノ數量ヲ包含セシメサルコト  
二 數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト  
五 加工用設備

種 目	數 量	見積價額	備 考
計		円	

(注意)

一 設備ニシテ他ノ事業ト兼用ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト  
二 特殊ノ設備ニ付テハ加工ニ關スル方法ノ概略ヲ備考欄ニ記載スルコト  
財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式 五二三



其ノ四 購買組合ニ關スル事項

一 購買物仕入先別數量及金額

種目	購買組合聯合會		販賣組合又ハ同聯合會		其ノ他		計		備考
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
(産業用)		円		円		円		円	
小計									
(經濟用)									
小計									
(産業及經濟兩用)									
小計									

(注意)

- 一 本表ハ購買物ノ主ナルモノニ付種目別ニ記載シ、殘餘ノモノハ其ノ他ノ項ニ一括シテ總金額ヲ記載スルコト
  - 二 肥料ニ付テハ硫酸安母尼亞、大豆粕、過磷酸石灰、石灰窒素、硫酸加里、魚肥、配合肥料、其ノ他ノ種目ニ分チ記載スルコト
  - 三 數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト
- 二 買入又ハ賣却シタル物ノ數量及價額

其他	合計

種目	前年度末現在		本年度買入		本年度賣却		本年度末現在		備考
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	
(産業用)		円		円		円		円	
小計									







		(産業及經濟兩用)	
小計			
合計			

(注意)

數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト

四 加工物細別

種目	數量	加工後ノモノ	加工前ノモノ	備考
	種目	數量	數量	

(注意)

一 加工前ノモノノ數量ニハ未タ加工ヲ了ラサルモノノ數量ヲ包含セシメサルコト

二 數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト  
五 加工及生産用設備

種目	數量	見積價額	備考
(加工用)			
小計			
(生産用)			
小計			
(加工及生産兩用)			
小計			
合計			

財産目録、貸借対照表、事業報告書及剩餘金處分案様式



(注意)

- 一 設備ニシテ他ノ事業ト兼用ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト
- 二 數量ノ單位ノ記載ニ付テハ其ノ三ノ一ノ注意第一號ニ準スルコト
- 三 特殊ノ設備ニ付テハ加工及生産ニ關スル方法ノ概略ヲ備考欄ニ記載スルコト
- 其ノ五 利用組合ニ關スル事項
- 一 組合員ノ設備利用

設備	種目	數量又ハ員數	設備ノ見積價額		利用程度	利用料備考
			円	円		
(産業用)						
小計						
内法人ノ分						
(經濟用)						
小計						
内法人ノ分						
合計						
内法人ノ分						

設備	種目	數量又ハ員數	設備ノ見積價額		利用程度	利用料備考
			円	円		
(産業及經濟兩用)						
小計						
内法人ノ分						
合計						
内法人ノ分						

(注意)

- 一 設備ニシテ他ノ事業ト兼用ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スルコト
  - 二 特殊ノ設備ニ付テハ設備利用ノ方法ノ概略ヲ備考欄ニ記載スルコト
  - 三 産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ組合ニ在リテハ本表ノ利用程度及利用料備考欄ニ
- 財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式 五二二



ハ組合員ノ利用ノ分ノミヲ記載シ組合員外ノ者ノ分ニ付テハ別ニ本表ニ準シ其ノ利用程度及利用料ノ表ヲ作成スルコト

其ノ六 農業倉庫

農業倉庫ノ事業報告書ハ大正七年八月農商務省告示第二百五十二號ニ依リ別ニ之ヲ作成スルコト

丁 剩餘金處分案

一金	何	圓	本年度總益金
一金	何	圓	本年度總損金
差引			本年度剩餘金
一金	何	圓	準備金
此處分			特別積立金
一金	何	圓	特別配當金
一金	何	圓	配當金
一金	何	圓	出資拂込ニ充ツ
內何圓			何
一金	何	圓	々

一金 何 圓

翌年度繰越金

第二 産業組合聯合會

産業組合聯合會ヨリ差出スヘキ書類ノ様式ニハ産業組合ヨリ差出スヘキ書類ノ様式ヲ準用ス但シ丙事業報告書様式其ノ一第一號中職業別欄ニハ組合又ハ聯合會ノ種類組合員數ノ欄ニハ組合又ハ聯合會ノ數ヲ記載スルコト

信用組合聯合會ニ在リテハ前項ノ規定ニ依ルモノノ外左ニ依ルコト

一 丙事業報告書様式其ノ二ノ一ノ(六)年度末現在金額別貸付金一ノ(七)年度末現在期間別貸付金及其ノ二ノ二ノ(三)年度末現在金額別貯金ノ各表ハ作成スルヲ要セサルコト

二 丙事業報告書様式其ノ二ノ三年度内貸付金及貯金ノ利率並ニ割引歩合ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

(一) 産業組合法第七十六條ノ二第一項ノ規定ニ依リ爲シタル債務保證

保證先	前年度末現在	本年度保證	本年度解除	本年度末現在
組合又ハ聯合會	金額	金額	金額	金額
會數	円	円	円	円

財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案様式







附錄様式

總會（總代會）ノ狀況

總會（總代會）開會 年月日 閉會 年月日

總組合員（總總代員）數 名

出席組合員（出席總代員）數 名（内議決權ヲ委任シタル者 名）

議 題

一 財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案

二 何々ノ件

三 ……………

右決議ノ要領

一 各議題毎ニ賛否ノ數

二 各議題ニ對スル主ナル賛否ノ意見

三 財産目錄ノ様式ニ關スル件

明治三十六年二月  
受第九六五號

産業組合財産目錄作成ノ要ハ組合財産ノ狀況ヲ明ニスルニ在リテ動産不動産債權債務其他

一切ノ財産ヲ記載スヘキモノトス（商法第二十六條第一項參照）隨テ簿記法ニ基キタル貸借對照表中ノ貸方ヲ直チニ財産目錄トスルハ其趣旨ヲ誤ルモノト認ム

四 産業組合法改正ニ關スル件

昭和七年十月二十四日  
七更部第一三六號

曩ニ産業組合法ヲ一部改正シタルハ産業組合ノ振起擴充ヲ期セムトスルモノニ有之殊ニ時局ニ鑑ミ農山漁村ノ經濟更生ノ爲ニ産業組合ヲシテ其ノ機能ヲ充分發揮セシムルヲ最モ緊要ト認メ産業組合ノ活動上其ノ信用竝ニ基礎ヲ擴大セシムルト共ニ産業組合運動ニ依ル利益ヲ洽ク普及均霑セシメムトスル意ニ外ナラスシテ之カ施行竝ニ周知方ニ付テハ既ニ夫々御高配中ト存候得共之カ指導ヲ誤マルニ於テハ反テ出資金ヲ減少セシメ或ハ組合員ヲ減少セシムル等産業組合ノ現有勢力ヲ減殺スルカ如キ結果ヲ招來スルナキヤヲ保セス斯クテハ法律改正ノ趣旨ハ全然没却セラルルト共ニ弊害ヲ將來ニ貽スコトト可相成ニ付特ニ左記事項ニ關シ御留意ノ上萬遺漏ナキ様御指導相成度此段及通牒候也

追而貴管内産業組合中央會道府縣支會、産業組合聯合會、産業組合等ニ對シテハ夫々貴官ヨリ本件ニ關スル趣旨ヲ傳達シ管内組合ノ指導上誤リナキ様配意相成度申添候

訓令、通牒及處分例

五二七

五二六



記

- 一 農村ニ於ケル産業組合及産業組合聯合會ノ組織變更ニ付テハ五ヶ年間ノ暫定期間ニ不  
拘速ニ實現セシムルコト
- 一 組織變更ニ關聯シ出資一口金額ヲ減少セシメ或ハ組合員ヲ脫退セシムルカ如キ結果ヲ  
招來セシメサラシムルコト
- 一 組合員ノ脫退ニ伴ヒ産業組合ノ準備金其ノ他各種積立金ヲ減少セシメサル爲可成出資  
金以外ニ持分ヲ持タシメサル様定款中持分ニ關スル規定ヲ改メシムルコト
- 一 農事實行組合及養蠶實行組合ノ組合員ニシテ未タ産業組合ニ加入セサル者ハ假令其等  
ノ組合カ産業組合ニ加入スルトスルモ尙極力單獨加入セシムルコト
- 一 單獨加入ヲ獎勵スルモ出資能力ナキ爲等ニ依リ加入困難ナル場合ニ付テハ農事實行組  
合、養蠶實行組合等ヲ通シテ産業組合ノ事業ヲ利用セシムルコト
- 一 農事實行組合ノ區域ト區域ヲ同シクスル他ノ養蠶組合、副業組合等アル場合ハ可成豫  
メ農事實行組合ト合併セシメタル上加入セシムルコト
- 一 農事實行組合及養蠶實行組合ヨリ加入ノ申込アリタルトキハ可成之ヲ加入セシメ故ナ  
クシテ之ヲ拒ムカ如キコトナカラシムルコト
- 一 産業組合ニ産業組合ヲ加入セシムルコトハ眞ニ已ムヲ得サル場合ニ於テノミ例外的ニ  
之ヲ認ムルコト

五 産業組合ノ同業組合加入ニ關スル件

大正三年三月  
農第一八三二號

販賣組合ハ生産者カ個々販賣ノ不利ヲ避クル爲共同セルモノニシテ商人ニ非サルカ故ニ商  
人ノミヲ以テ組織スル同業組合ニ之ヲ加入セシムルノ要ナキモノトス

六 公共團體ノ意義ニ關スル件ニ付通牒

昭和二年七月十三日  
地發甲第二八號  
內務省地方局長

各地方長官宛

標記ノ件ニ關スル左記甲號和歌山縣知事ノ照會ニ對シ乙號ノ通り回答候條爲念  
(甲號)

五月二十四日

地方局長宛

和歌山縣知事

訓令、通牒及處分例



産業組合ハ市制一二一條町村制一〇一條中ニ於ケル其ノ他ノ公共團體中ニ包含スル儀ナリ  
ヤ至急御指示ヲ乞フ  
(乙號)

七月六日

地方局長

和歌山縣知事宛

産業組合ニ關スル件公共團體ニ非スト存ス

七 産業組合事務所ニ對シ家屋稅賦課ノ件通牒

昭和二年十一月十八日  
農地第四號

內務省地方局長  
大藏省主稅局長

北海道廳長官宛  
各府縣知事宛

家屋稅ノ賦課ヲ不適當トスル家屋ノ範圍ニ關シテハ本年三月三十一日發地第三號ヲ以テ通牒ノ次第モ有之候處産業組合ノ事務所(賃借ニ係ル建物ヲ除ク)ニ對シテモ可成家屋稅ヲ賦

課セサルヲ穩當ト被認候ニ付可然御措置相成度

八 産業組合ノ自治監査ニ於ケル書類ニ對シ印紙稅法適用ニ關スル件

七、農局第二一八一號

農務局長

大藏省主稅局長宛

産業組合ノ監事ノ行フ組合監査所謂自治監査ノ勵行ハ從來當省ニ於テ獎勵シ來リシ所ニ有之候處監事カ監査執行ノ方法トシテ各組合員ニ對シ其ノ組合ニ對スル債務現在高ニ關シ照會ヲ發シタル場合之ニ對スル組合員ノ回答書ニ付島根縣下稅務署ニ於テハ印紙稅法第四條第一項第二十七號ニ該當スル書類トシテ印紙ノ貼用ヲ要スルモノト取扱ハレ居ル趣ニテ同縣知事ヨリ別紙ノ如キ照會有之候然ル處前記組合員ノ回答書ハ監事ヨリノ照會ニ對シ監事宛發セラル、モノニシテ債權者タル組合ニ對スルモノニアラス從ツテ印紙稅法ニ所謂承認ニ關スル證書ニハ該當セサルモノト解セラレ島根縣知事ヨリ照會セル所ハ相當理由アルモノト被認候ニ付テハ可然御詮議ノ上右書類ニ付テハ印紙貼用ノ要無之様御配慮相煩度此段及照會候也

訓令、通牒及處分例



農業組合員カ其ノ組合ニ對スル債務現在高ニ付組合監事ノ照會ニ對シテ發スル回答書ノ印紙稅ニ關スル件

藏稅第一二五〇號

大藏省主稅局長

農林省農務局長宛

本月二日附七農局第二一八一號ヲ以テ御照會相成候首標ノ件了承右ハ御來旨ノ通印紙貼用ノ要無之モノト思料致候此段及回答候也

九 府縣カ住宅供給ヲ目的トスル産業組合ノ

有スル抵當權ヲ擔保トスル附記登錄稅ニ

關スル件

昭和三年四月十七日藏稅第九四三號大藏省主稅局長問合 同年五月四日民事五〇五三號民事局長回答

府縣カ住宅供給ヲ目的トスル産業組合ニ其ノ資金トシテ貸付タル債權ノ爲ニ産業組合ノ有スル抵當權ヲ擔保トスル附記登記ニ對スル登錄稅ノ取扱方ニ付別紙ノ通り農林省農務局長ヨリ照會有之候處右ハ登錄稅法第十九條第十號規定ノ趣旨ニ依リ免除スルヲ相當ト認メラレ候得共貴局御意見承知致度候

右及照會候也

(別紙)參農第一三〇一號

昭和三年二月十三日

農林省農務局長

大藏省主稅局長宛

府縣カ住宅供給ヲ目的トスル産業組合ノ有スル抵當權ヲ擔保トスル

附記登錄稅ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ別紙寫ノ通東京府知事ヨリ照會ノ次第モ有之候處貴省ノ意見承知致度此段及照會候也

(別紙)辰商發第六二號

昭和三年二月四日

東京府知事

農林次官殿

府縣カ住宅供給ヲ目的トスル産業組合ノ有スル抵當權ヲ擔保トスル  
附記登錄稅ニ關スル件

府縣カ住宅供給ヲ目的トスル産業組合ニ融通セル資金ノ擔保トシテ住宅ノ抵當權ヲ取得スル登記ニ關シテハ登錄稅法第十九條第十號ニヨリ登錄稅ヲ賦課セラレサル儀ニ有之候處同訓令、通牒及處分例



標ノ趣旨ヲ以テ組合ノ有スル抵當權ヲ債權ノ擔保トスル附記登錄ニ付テモ右ニ準シ登錄稅ヲ免除セラルルモノト被存候モ一應貴省ノ御意見承知致度此段及照會候也

民事局長回答

本年四月十七日附藏第九四三號御照會ニ係ル件ハ產業組合カ當該借入金ヲ住宅供給ノ目的ニ使用スルコト確保セラルルニ於テハ貴見ノ通思考致候此段及回答候也

### 二 副業團體ニ關スル件

昭和三年二月四日  
農第一二五〇號

農林省農務局長

各縣知事宛

副業ニ關スル國體ヲ組織スルコトハ斯業ノ改善發達上最緊要ナル施設ニシテ從來當局ノ指導獎勵ト相俟チ相當該組織ノ普及ヲ見ルニ至レリト雖モ其基礎多クハ薄弱ニシテ所期ノ目的ヲ達成スルコト難キ實狀ニ有之候ニ付爾今副業ニ關スル共同施設ノ獎勵ニ付テハ可成既設法人ヲシテ其ノ事業ヲ行ハシムル途ヲ講スルト共ニ新ニ組織スルモノハ可成產業組合等ノ法人組織ニ依ラシムル様致度又副業團體ノ助成ハ其事業促進上必要ト被認モ從來道府縣ノ施設中ニハ廣ク多數ノ團體ニ對シ少額宛經營費ニ補助シ又ハ單ニ成績表彰ノ意味ヲ以テ

補助スルニ過キササル爲補助ノ效果ヲ充分ナラシメ得サルモノモ有之候ニ付テハ今後本省ノ獎勵金ヲ受ケテ行フ道府縣ノ副業團體助成施設ハ可成法人ヲ對象トシ且ツ補助事項ハ副業用設備、副業ニ關スル參考品並副業用種苗及器具機械ノ配付、副業ニ關スル傳習會講習會展覽會共進會競技會等ノ開設、副業ヲ指導スヘキ技術員ノ養成及副業ニ關スル試驗ニ限リ其ノ他ノ事項ニ付助成ノ必要ヲ生シタル場合ハ其ノ事由及團體ノ内容ヲ詳記シ其都度本省ニ打合セ相成様致度此段依命及通牒候也

追而本件ニ關シテハ副業獎勵規則第一條ニ依リ當該獎勵金ノ交付ヲ受ケ得ヘキ法人（大十四年九月農林省告示第九六號）ニ對シ其旨御示達相成度右申添候

### 二 產業組合設立報告ニ關スル件

昭和六年七月十七日  
六農第九〇九〇號

農務局長

長野縣知事宛

五月二十五日附六產組第一三二七二號ヲ以テ首題ノ件報告相成候處該報告中有有限責任長野縣料醫購買組合ハ其ノ組合員ノ業態、事業計畫等ヨリ見ルニ其ノ取扱物品ノ大部分ハ之ヲ購入スル組合員ニ於テ其ノ儘對價ヲ徴シテ他ニ提供スルモノト被認右ハ購買組合ノ趣旨ニ適セサル義ニ付解散セシムルカ又ハ組合員カ他ニ提供スル物ハ之ヲ取扱ハシメサル様適當措

訓令、通牒及處分例



置相成度此段及通牒候也

備考 本件組合ハ長野縣下一圓ヲ區域トシ全縣下ノ料理店業者及置屋業者ヲ組合員トシ其ノ所要品ノ購買ヲ目的トスルモノナリ

### 三 産業組合設立許可取消ノ件

明治三十五年四月  
往第三五九三號

産業組合法ニ於テハ已ニ設定シタル組合ニ對シ許可取消ヲ行フニ適用スル規定ナシ依テ同法第六十二條ニ依リ解散ヲ爲サシムルカ又ハ同法第六十一條ニ依リ解散ヲ命スルカノ二途ニ出テサルヘカラス

### 三 定款ノ規定上注意スヘキ事項ノ件

大正十一年農務局第一四八號農務局長銀行局長通牒  
改正同十五年五月二十五日農務第六三四〇號

地方長官宛

産業組合及産業組合聯合會設立ノ許可、合併ノ認可又ハ定款變更ノ認可ヲ爲スニ方リテハ

最モ慎重ニ組合又ハ聯合會經營上遺漏ナキ様調査相成ハ勿論ノ儀ニ有之候モ定款ノ規定ニ付テハ左記事項留意相成度尙定款ノ規定ニシテ當否疑ハシキモノ又ハ異例ト認メラルルモノアルトキハ意見ヲ具シ定款ノ謄本ヲ添ヘテ許可又ハ認可前(産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル信用組合ニ關スル事項ニ付テハ農商務、大藏兩省ニ其ノ他ノ事項ニ付テハ農商務省ニ)豫メ打合セ相成度此段及通牒候也

追テ明治四十四年農務第一四七〇七號農務次官通牒ハ此際廢止相成候ニ付御了知相成度申添候

記

- 一 組合ノ事業ハ明瞭ニ詳記セシムルコト
- 一 加入豫約者ノ貯金ヲ取扱ハムトスル場合ニハ其旨ヲ明記セシメ且貯金ノ最高限ハ出資一口ノ金額及加入金ノ合計額ト規定セシムルコト
- 一 産業組合法第四十條第二項ノ規定ニ依リ新聞紙ニ公告ヲ爲サムトスル場合ニハ其ノ新聞紙ヲ確定的ニ規定セシムルコト
- 一 持分ニ關スル規定ヲ組合財産ノ各科目ニ付各別ニ規定シ且年度毎ニ算定シテ加算スル方法ヲ探ラムトスル場合ニハ保證責任販賣組合聯合會模範定款第七條ノ如キ規定ヲ設ケシムルコト
- 一 出資金以外ノ持分額、貸付金額又ハ貯金額ニ應ジテ持分ヲ有セシメサルコト

訓令、通牒及處分例



- 一 出資拂込ノ方法ニ付テハ小産者ノ拂込ヲ困難ナラシムルコトナキ程度ニ於テ成ルヘク速ニ拂込ヲ完了スル様規定セシムルコト
- 一 準備金又ハ特別積立金管理ノ爲有價證券ヲ買入レ又ハ預金ヲ爲サムトスル組合ニ在リテハ國債證券、地方債證券、勸業債券、貯蓄債券、日本興業銀行ノ債券、北海道拓殖銀行ノ債券及農工債券以外ノ有價證券ニ付テハ總會ノ承認ヲ經タルモノニ限リ又預金先ハ總會ノ承認ヲ經タルモノニ限ル旨ヲ明記セシムルコト但シ一個人ニ對スル預入ニ付テハ必要止ムヲ得サル場合ノ外規定セシメサルコト
- 一 理事、監事ノ數ハ確定的ニ規定セシムルコト
- 一 特別ノ事情ナキ組合ニ在リテハ理事ノ任期ハ六箇年、監事ノ任期ハ三箇年ヲ超エサル範圍内ニ於テ定メシムルコト
- 一 組合長又ハ専務理事等ヲ設クルトキハ其ノ權限ヲモ規定セシムルコト
- 一 理事、監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フヘキ旨ノ規定ヲ設ケシムルコト
- 一 特別ノ事情ナキ組合ニテハ總會ノ開會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得サル旨ノ規定ヲ設ケシムルコト
- 一 一組合員カ代理シ得ヘキ總會ニ於ケル議決權ノ最高限度ハ地方ノ事情及組合員數等ヲ參酌シテ之ヲ規定セシムルコト總代會ノ場合亦同シ

- 一 産業組合法第三十八條ノ準用シタル民法第六十四條但書ニ依リ別段ノ規定ヲ設ケムトスル場合ニハ急速輕微ナルモノニ限ル旨ヲ規定セシムルコト
- 一 餘裕金ノ管理方法ハ必ス之ヲ定款ニ規定セシムルコト但シ其ノ方法ニ付テハ不安全ナルコト及固定スルコトヲ避ケシメ且一個人ニ對スル預入ハ必要止ムヲ得サル場合ニ限ラシムルコト
- 一 貸付金及貯金ノ利率ニ付テハ必ス其ノ最高限ヲ規定セシムルコト
- 一 販賣組合、購買組合又ハ利用組合ニ付テハ其ノ販賣スル物、購買スル物又ハ設備ノ重ナル種目ヲ掲記セシムルコト
- 一 販賣組合及購買組合ニ於テ加工又ハ生産ヲ爲サムトスル場合ニハ加工又ハ生産ノ要領ヲ規定セシムルコト
- 一 購買組合ニ付テハ組合カ組合員ニ賣却スル物ノ價格ノ標準ヲ規定セシムルコト
- 一 販賣組合、購買組合又ハ利用組合ニ於テ歩合金又ハ利用料ヲ徵セムトスル場合ニハ之ニ關スル規定ヲ設ケ然ラサル場合ニハ其ノ旨明記セシムルコト
- 一 剩餘金處分ニ關スル規定ハ剩餘金ヲ處分シ盡ス様明記セシメ且順位割合等ニ付疑義ヲ生セサル様規定セシムルコト
- 一 剩餘金配當ノ標準ハ持分(全部若ハ一部)ニ應スルモノナリヤ又ハ取扱ヒタル物ノ數量價額若ハ事業ノ分量ニ應スルモノナリヤヲ明記セシムルコト



- 一 産業組合法第四十三條第二項ノ規定ニ依リ端數金額ノ切捨ヲナサムトスル場合ニハ之ニ關スル規定ヲ設ケシムルコト
- 一 加入豫約者カ加入スル場合モ加入ノ手續ニ依ラシメ且其ノ貯金ノ全部ヲ以テ出資及加入金ノ拂込ニ充テシムル旨ヲ規定セシムルコト
- 一 加入金又ハ増口金ノ徴收ハ左ノ場合ニ限ラシムルコト
  - 一 手数料トシテ少額ヲ徴スルトキ
  - 二 持分ノ衡平ヲ圖ル爲ニ徴スルトキ
- 一 信用組合聯合會カ産業組合法第七十六條ノ二ノ規定ニ依リ債務ノ保證ヲ爲サムトスル場合ニハ其ノ旨明記セシムルコト
- 一 産業組合法第一條第八項ニ依リ指定シタル設備ヲ組合員タルコトヲ得サル者ヲシテ利用セシメトスル組合ニ在リテハ各設備ニ付其ノ旨ヲ規定セシムルコト
- 一 産業組合法第一條第七項ノ事業ヲ行フ利用組合ニ在リテハ組合員及組合員タルコトヲ得サル者ノ利用ノ順位ヲ規定セシムルコト
- 一 住宅若ハ其ノ用地賣却ヲ目的トスル購買組合ノ組合員ハ原則トシテ同種ノ目的ヲ有スル他ノ購買組合ノ組合員タルコトヲ得サル旨ヲ規定セシムルコト

### 二 異例ニ屬スル定款規定ニ關スル件

昭和四年八月十三日  
農局第二三七五號

七月二十五日附四產第二四三一號ヲ以テ首題ノ件ニ關シ照會ノ趣了承右ハ貴見ノ通不適當ト被認候條當該定款ノ變更ハ之ヲ認可相成ラサル様致度此段及回答候也

異例ニ屬スル定款規定ニ關スル件

昭和四年七月二十五日  
產二一四三一號

岐阜縣知事

農務局長宛

部内大野郡有限責任大野郡購買組合聯合會ヨリ左記ノ通定款變更認可申請候處右ハ別段違法トハ認メラレス候得共一面ニ於テハ聯合會ト其ノ附屬組合トノ間ニ相互ニ金融ヲ附シ合フ結果トナリ爲ニ信用組合聯合會ノ利用ヲ阻害スルノミナラス多少ノ弊害ヲ惹起スル場合有之候様被認候條一應御意見承知致度此段及照會候也

記

定款第四十一條第二項ヲ新設シ左ノ通り變更ス

第四十一條 理事ハ必要アリト認ムルトキハ時機ヲ指定シテ所屬組合ニ注文物品ノ見積代

訓令、通牒及處分例



金ノ一部若ハ全部ヲ提供セシムルコトヲ得  
前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩三錢以內ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコト  
ヲ得

### 一五 産業組合名稱ニ關スル件

明治四十一年農發第一一三一五號  
及局發一六七號農務局長通牒

産業組合ノ名稱中其ノ目的ヲ示スヘキ文字トシテハ産業組合法第一條括弧中ノ文字ヲ用キ  
ルコトヲ要シ其ノ間ニ何等文字ノ挿入ヲ許ササル儀ニ有之候條御了知相成度尙從來ノ組合  
ニシテ右ニ反スル名稱ヲ附スルモノハ時期ヲ見計ラヒ變更方御取扱ヒ相成度依命此段及通  
牒候也

追而兼營ノ組合ニ付テハ何々信用購買販賣生産組合トシ中間ニ挿入シタル組合ノ文字ハ  
除クヘキモノニ候條爲念申添候也

六月十三日附第一一三一五號ヲ以テ産業組合ノ名稱中其ノ目的ヲ示スヘキ文字ノ用例ニ付  
通牒致置候處追而書ノ兼營組合ニ於テモ勿論中間何等ノ文字ヲモ挿入スル能ハサル儀ニ有  
之從テ「無限責任大川購買兼(及)並(ニ)販賣組合」有限責任大川毛筆販賣及原料購買組合等  
ノ如キ圈點ノ分ハ挿入シ得サル儀ニ有之候ヘ共之ニ反シ「無限責任大川信用販賣組合」又ハ

「有限責任信用生産組合大川社」ト謂フカ如ク「有限責任」ナル文字ノ前後若クハ「何々組合」  
ナル文字ノ下ニ特種ノ名稱ヲ示スヘキ文字ヲ挿入スルハ支障無之儀ニ有之候處該通牒ニ對  
シ往々質疑ノ向モ有之候條爲念此段及通牒候也

### 一六 事務所ノ位置ニ關スル件

明治四十一年二月  
農發第一一三二號

産業組合ノ事務所ハ組合ノ區域内ニ置クヲ肝要トスルモ止ムヲ得サル場合ハ之ヲ區域外ニ  
置クモ差支ナキモノト認ム

### 一七 取次所ニ關スル件

明治四十二年二月  
農發第五〇號

取次所ト雖從タル事務所トシテ繼續的ニ事務ヲ執リ居ル場合ハ之ヲ定款ニ記載スルヲ要ス

### 一八 保證責任組織ノ組合ニ於ケル保證ノ

訓令、通牒及處分例



## 方法ニ關スル件

五四四

明治三十九年六月  
農受第四六一七號  
保證責任組織ノ組合ニ於ケル保證金額ハ各組合員ニ付キ定ムルモノニシテ組合ノ保證金額ヲ定ムルコトヲ要セス

## 一 保證責任組織ノ組合ニ於ケル損失分擔ニ關スル規定ノ件

明治三十四年六月  
農受第四七八〇號

損失分擔ニ關スル規定ハ組合ノ損失カ保證金額ニ等シク若クハ之ニ超過スル場合ニハ其必要ナキカ如キモ損失カ保證金額ヨリ少クシテ一部ノ組合員ノ保證金額ヲ以テ組合債務ヲ完済シ得ル場合ニハ忽組合員相互ノ間ニ求償ノ問題ヲ生シ出資額其他ノ標準ニ依リ總組合員ノ間ニ其損失ヲ分擔スヘキコトヲ豫メ定メ置クニ非サレハ常ニ爭ヲ生スルコトアルヘシ產業組合法第九條第一項第七號ニモ之ヲ以テ定款ノ必要事項ト爲セリ

## 二 行政區劃變更ノ場合ニ於ケル產業組合ノ區域ニ關スル件

昭和六年十二月二十二日  
日六農局第四〇九四號  
農務局長

福岡縣知事

十一月二十一日附産第一五八七號ヲ以テ首題ノ件ニ關シ御照會ノ趣了承產業組合ノ區域ハ行政區劃ノ變更ニ伴ヒ當然變更ヲ來スモノニアラスシテ從來ノ地區ニ依ルヘキモノト被認候尙行政區劃ノ變更アリタル場合ハ當該組合ノ定款ニ付區域ノ名稱相當變更スルコトヲ要スルモノト被認候條御了知相成度此段及回答候也

行政區劃變更ノ場合ニ於ケル產業組合ノ區域ニ關スル件

昭和六年十一月廿一日  
産第一五八七號

福岡縣知事

農務局長宛

訓令、通牒及處分例

五四五



産業組合設立後市町村ノ合併ニ依リ行政區劃ノ擴張シタル場合ノ組合區域ハ合併前ノ區域ト解スヘキモノナルヤ將又合併後ノ區劃ヲ以テ直ニ組合ノ區劃ト看做シ得ヘキモノナルヤ若シ合併前ノ地域トシテ取扱フ場合ハ其ノ取扱ノ手續ニツキ併テ御指示相仰度此段及照會候也

追テ最近甲市ニ乙村ヲ合併シタルニ右ハ共ニ既設存續セル組合アツテ又甲乙丙ノ三ヶ村ヲ合併シ丁村ト改稱シ組合ハ舊各村ニ各々其ノ地區ヲ區域トセル組合存立ノ實情ニ付爲御參考

### 三 事務所ノ地番變更ニ關シ登記囑託方ノ件

大正九年八月  
九農局第一〇七一號

産業組合事務所ノ地番變更ニ付登記囑託ニ關スル大分縣知事ノ質疑甲號ニ對シ乙號ノ通函答致置候條貴官ニ於テモ同様御取扱相成様致度此段及通牒候也

(乙 號)

大正九年六月二十八日附商第四四七九號ノ一ヲ以テ産業組合事務所ノ地番變更ニ關スル登記囑託方ニ付御照會相成候處本件ノ如キ場合ニハ當然定款記載事項ノ變更ヲ來スモノニ付

總會ノ決議及認可ヲ要セス單ニ組合ノ届出ニ依リ登記ヲ囑託スヘキモノト被存候條御了知相成度司法省民事局トモ協議ノ上此段及回答候也

(甲 號)

大正九年六月二十八日

大分縣知事

農商務省農務局長宛

司法大臣ノ命ニ依リ戶籍ヲ改製セル結果産業組合事務所番地ニ變更ヲ來シタル場合ハ定款變更認可申請書ヲ提出セシメ認可ノ後事務所變更登記囑託ヲ爲スヘキヤ又ハ法第十五條ノ類推ニ因リ單ニ之カ更正囑託ヲ爲スヘキモノナリヤ將亦其ノ他ノ方法ニ因リテ登記囑託ヲ爲スヘキモノナリヤ御指示相仰度此段及照會候也

### 三 組合員ノ資格ニ關スル件

明治四十二年四月  
農受第四一四號

組合員ハ組合ノ區域内ニ居住スル者タルコトヲ要ス從テ組合ノ區域内ニ如何ナル關係ヲ有スル者ト雖組合ノ區域内ニ住居セサル者ハ組合ニ加入スルコトヲ得サルモノトス

訓令、通牒及處分例



三 「獨立ノ生計」ノ意義ニ關スル件

明治三十六年八月  
受第一〇二二號

産業組合模範定款中「獨立ノ生計云々」トハ戸主タルト家族タルトヲ問ハス又同居ト別居トヲ問ハス自己ノ收支ヲ以テ生計ヲ營ムモノヲ意味スルモノナリ

二 地主カ販賣組合ニ加入スルノ件

明治四十一年八月農發第  
一七〇號農商務次官通牒

地主カ農業ニ關スル何等ノ行爲ヲ爲サス單ニ其ノ所有地ヲ貸付シ其ノ地代トシテ小作米ヲ取得スル場合ニ於テハ其ノ米ノ生産者ト謂フコトヲ得サルコトハ勿論ノ儀ニ候ヘ共地主ニシテ當時其ノ所有地ノ生産ニ付企業者ノ如ク關與シテ小作米ヲ收納スル者ハ其ノ收納米ニ付自ラ生産シタルモノトシテ取扱候事ニ省議決定致候條販賣組合ノ組合員トシテ地主ヲ加入セシムルモノニ付テハ右ニ依リ相當處理相成様致度此段通牒候也

二五 兼營組合ニ加入スル件

明治四十年六月  
農發第一〇八二六號

兼營組合ニ於ケル事業ノ各部ヲ選擇シ加入セシムルハ組合加入ノ本旨ニ適セサルモノトス

二六 出資拂込ニ關スル件

明治四十二年四月  
農發第一一一一號

出資ノ拂込ニ國庫債券ヲ以テスルハ違法ナリ産業組合ノ出資ハ金錢ヲ以テ拂込ムコトヲ要ス

二七 出資ノ第一回拂込金額ニ關スル件

明治四十年十一月  
農發第八七七號

出資ノ第一回拂込金額ノ最低限ヲ定メ其ノ額ニシテ確定セサルモノモ差支ナキモノト認ム

訓令、通牒及處分例



### 二六 出資第一回拂込金額ニ關スル件

明治四十一年十一月  
農受第二一九號

出資第一回ノ拂込金額一口(金額ノ十分ノ一)ハ分割シテ拂込ムコトヲ許ササルモノトス

### 二五 加入豫約者ノ貯金ニ關スル件

明治四十三年三月  
農受第二〇八八號

組合カ加入豫約ヲ承認シタルトキハ一定ノ期間内ニ金壹圓以上ヲ必ス貯金セシメムトスルハ小業者ノ加入豫約ヲ困難ナラシムルヲ以テ其ノ金額ハ相當限度ニ遞減スルカ若ハ全ク其ノ制限ヲ削除スヘシ

### 二三 組合員ノ出資口數減少ニ關スル件

明治三十七年十月  
受第五八二五號

出資口數減少ニ付テハ持分讓渡ノ方法ニ依ルヲ得ヘク且又組合債權者トノ關係モアルヲ以

テ組合員ノ出資口數減少ハ之ヲ認メサル方可然

### 三三 出資一口ノ金額減少ニ依ル持分拂戻ノ件

明治三十八年十二月  
局受第一三二三號

出資一口ノ金額ヲ減少シタル場合ニ於テハ其ノ減少シタル出資額ノ一部分ノ金額ノミヲ拂戻スヘキモノトス

### 三二 脱退ノ豫告ニ關スル件

明治三十七年十月  
受第四七八五號

定款ヲ以テ脱退ノ事由ヲ規定スルモ産業組合法第五十一條以外ノ事由ニ依リ脱退セムトスル組合員ハ總テ同法第五十條ニ依リ豫告ヲ爲スコトヲ要ス

### 三三 「隠居」ヲ脱退ノ原因ト爲ス旨ノ定款ニ關スル件

明治三十七年十月  
受第四七八五號

訓令、通牒及處分例



「隱居」ハ當然ノ脱退事由ニ非ス故ニ「隱居」ヲ脱退原因トスル組合ニ在リテハ組合員ノ資格ニ「戸主」タルコトヲ要スル旨ヲ規定スヘシ

### 三 脱退ノ禁止ニ關スル件

「組合員ハ其ノ債務履行後ニアラサレハ脱退スルコトヲ得ス」トノ規定ハ削除スヘシ  
明治四十一年十二月  
農受第一二六六三號

### 三五 脱退事由ノ制限ニ關スル件

産業組合法第五十一條ニ規定セラレタル組合員ノ組合脱退事由ヲ以テ定款ヲ制限スルハ違法ナリ  
明治四十二年四月  
農受第三三二四號

### 三六 持分讓渡ノ承諾ニ關スル件

明治三十五年二月  
受第一〇六一九號

組合員ノ持分讓渡ノ許否ニ付テハ總會ノ決議ニ依ルヲ以テ最モ安全ナリトスルモ理事カ單獨ニ之ヲ許否スルコトモ亦法律ノ禁スル所ニアラス依テ法文ノ咎メサル限リハ組合ノ意思ニ據ラシムヘシ

### 三七 持分ニ關スル件

大正十三年十月  
農局臨第九二號

産業組合聯合會ノ積立金ニ對スル所屬組合又ハ所屬聯合會ノ持分經理方ニ關シテハ從來其ノ取扱ヒ區々ニ涉リ居候處其ノ持分ヲ損益計算表利益ニ計上スルコトハ未タ所屬組合又ハ所屬聯合會カ的確ニ收入セサル利益ヲ處分スルコト、ナリ斯クテハ組合又ハ聯合會ノ基礎ヲ危クシ其ノ安固ヲ缺クノ慮有之經理上妥當ナラサル様被認候ニ付テハ爾今可成右方針ニ則リ經理方可然御取計相成様致度此段及通候也

### 三九 産業組合ノ理事及監事ノ資格ニ關スル件

大正二年四月  
農第二八六一號

産業組合ノ理事又ハ監事カ公權ヲ剝奪若ハ停止セラレタル場合ニ付テハ産業組合法ニ何等訓令、通牒及處分例



規定ナシト雖之カ爲ニ民法施行法第二十七條ヲ適用スルコトヲ得サルモノトス尤モ多クノ  
場合ニハ定款ノ除名ニ關スル規定ニヨリテ間接ニ理事監事失格ノ結果ヲ來タスモノトス

### 三 理事ノ選舉區及選任方法ニ關スル件

明治四十年十二月  
農受第一一三二五號

理事ノ選出區域ヲ定ムルハ差支ナキモ該區域内ノ組合員ノミニ依リ理事ヲ選任スルハ違法  
ナリ依テ理事ハ組合總會ニ於テ選任スル旨ニ改ムヘシ

### 四 産業組合理事又ハ清算人選任ニ關スル件

大正十四年十月  
農第一六四七八號

産業組合法第六十條ノ二及同第七十三條ノ二ノ規定ニ依リ地方長官ノ選任スル理事又ハ清  
算人ハ組合員タルコトヲ要セサル義ナルモ行政上ノ取扱ハ成ルヘク組合員ヲ以テ之ニ當ラ  
シムル様致度

### 四 監事ノ被選資格ニ關スル件

明治三十三年五月  
受第二七八六號

監事ノ被選資格ニ付區域上ノ制限ヲ定ムルハ不當ニアラサルモ其ノ選舉ハ總會ニ於テ全組  
合員ヲ以テ爲スヘキモノナルカ故ニ限定セル區域内ノ組合員ノミヲ以テ各別ニ選舉ヲ爲ス  
ハ不可トス

### 三 監事ノ職務權限ニ關スル件

明治三十五年九月  
受第九四八九號

役員會ニ於テ監事ニ表決セシムル旨ノ規定ハ監督機關ト執行機關トヲ混同シ監事ノ職務外  
ノ行爲ヲ爲サシムルモノニシテ違法ナリ依テ監事ハ單ニ意見ヲ述ゾルニ止メ表決ニ加ハル  
ヲ得サル旨ノ規定ニ改ムヘシ

### 三 産業組合ニ支配人ヲ置キ得ルヤ否ヤノ件

大正四年七月  
農局第四七八號

訓令、通牒及處分例



産業組合ニ支配人設置ニ就テハ法律上疑義有之候ノミナラス假ニ之ヲ適法トスルモ今日ノ場合産業組合ニハ之ヲ認メサル方可然

### 四 定款變更ニ關スル總會又ハ總代會招集 通知事項ノ件

昭和六年十二月三日  
六農局第四一八八號

農務局長

各地方長官宛

産業組合及同聯合會ニ於テ總會又ハ總代會ニ定款ノ變更ヲ附議スルニ當リ招集通知狀ニ會  
議ノ目的トシテ單ニ定款變更ノ件ト記載スル向往々有之候處今後ハ變更スヘキ定款ノ内容  
ヲ記載セシムル様御指導相成度此段及通牒候也

### 五 代理議決權制限ニ關スル件

明治四十一年十月  
農受第四〇四三號

産業組合法第三十七條ノ權利ヲ絕對ニ制限スルハ違法ナリ

### 四 書面表決ニ關スル件

明治四十一年三月  
農受第二七三九號

總會ニ出席セサル組合員カ書面ヲ以テ表決ヲ爲スハ法意ニ適セサル決議ト認ム

### 四 産業組合法第二十三條ノ權利ノ制限 ニ關スル件

明治三十九年三月  
農受第一九〇八號

法第二十三條ノ「五分ノ一以上」ヲ「四分ノ一以上」トスルハ法カ特ニ認メタル組合員ノ  
權利ヲ不法ニ制限スルモノナルカ故ニ相當訂正スヘシ

### 四 出資額ニ對スル特別配當ニ關スル件

明治三十九年六月  
農受第四六一七號

出資額ニ對シ特別配當ヲ爲スハ不適當ト認ム

訓令、通牒及處分例



四 貯金額ニ應シ特別配當ヲ爲スノ件

明治四十一年七月  
農受第二一四號

組合員ノ貯金額ニ應シ特別配當ヲ爲スハ公平ヲ缺クノ虞アルヲ以テ寧ロ貯金利息ニ應シ配當スル旨ニ改ムヘシ

五 特別配當金ニ關スル件

明治四十二年四月  
農受第四八二七號

組合員ニ配付スヘキ特別配當金ヲ以テ組合ノ備付物品ヲ購入スルハ組合員ニ出資金以外ノ拂込ヲ爲サシムルモノニシテ違法タルヲ免レサルモノトス

五 産業組合法施行規則第五條ニ關スル件

明治四十年十一月  
農受第一〇九四九號

加入金及一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ準備金定額ニ達シタル後ト雖準備金ニ繰入ル

ルモノトス

五 準備金ノ用途ニ關スル件

明治四十二年一月  
農受第一四二二九號

準備金ハ損失填補ニ充ツルノ外他ニ使用スルコトヲ得ス

五 産業組合ノ積立金若ハ餘裕金ノ運用又ハ管理方法トシテノ信託預金ニ關スル件

大正十五年農局第一一〇九號  
農務局長銀行局長通牒

地方長官宛

近時信託事業ノ發達ニ伴ヒ産業組合ノ積立金若ハ餘裕金ノ運用又ハ管理トシテ信託預金ヲ爲サムトスルノ傾向有之候カ産業組合ノ積立金若ハ餘裕金ノ運用又ハ管理トシテノ預入ニ關シテハ大正十一年二月十三日附十一農局第一四八號通牒中注意致シ置候次第モ有之候條左記ノ條件ヲ具備スル場合ニ非サレハ信託預金ハ之ヲ爲サシメサル様御指導相成度此段及通牒候也

訓令、通牒及處分例



- 一 積立金ニ限ルコト
- 一 信託會社ノ信用ヲ充分ニ調査スルコト
- 二 定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定シタル場合ナルコト
  - 1 信託會社ハ總會ノ承認ヲ經タルモノニ限ルコト
  - 2 信託ノ種類(特定信託、指定信託、特定及指定ナキ信託ノ別)
  - 但特定又ハ指定信託ニ在リテハ其ノ運用方法ヲ有價證券ニ特定又ハ指定スル場合ニ限リ之ヲ認ムル様致度尙此ノ場合ニ於テハ有價證券名ヲモ定款ニ規定セシムルコト
  - 3 信託期間
  - 二ケ年ヲ超ヘシメサルコト

### 五 産業組合力會社ノ株式引受ニ關スル件

大正九年九月  
九農第一一八三二號

近時産業組合ニ對シ會社ノ株式ノ引受又ハ買入ヲ勸誘スル尙有之ヤニ被存候處産業組合カ資金利用ノ方法トシテ會社ノ株式ヲ取得スルハ必ラスシモ之ヲ禁止セサル處ナルモ弊害ヲ伴フ虞多キヲ以テ慎重ニ詮議スルコトヲ要シ殊ニ會社カ組合ノ事業ト同一又ハ類似ノ事業

ヲ營ム場合ニ在リテハ其株式ノ取得ハ組合又ハ聯合會ノ發達ヲ妨クル惧アルヲ以テ其ヲ認メサル方可然ト存候ニ付豫メ御了知相成度爲念此段及通牒候也

### 五 産業組合ノ資金管理運用ニ關スル件

昭和七年十月二十六日  
七更部第一三五號  
經濟更生部長

#### 地方長官宛

現下經濟界ノ異狀ナル不況ニ鑑ミ特ニ産業組合ノ活動ヲ促進スルコトニ付テハ各別ノ御配慮ヲ相煩居ルコトト存候然ル處從來銀行ノ休業スルモノ不尠爲ニ産業組合ノ蒙レル損害大ナルモノ有之ハ甚タ遺憾トスル所ナルニ不拘近時更ニ休業銀行ノ整理更生案ヲ樹ツルニ當リ産業組合ヲシテ銀行ノ有スル貸付金債權ノ肩替ニ依リ資金ヲ供給セシメ又ハ産業組合ノ有スル預ケ金ノ拂戻ニ替ヘテ銀行ノ株式ヲ引受ケシムルカ如キ計畫ヲ爲ス尙有之哉ニ及聞候處産業組合カ銀行ノ有スル債權ノ肩替ヲ爲シ又ハ銀行株式ヲ引受クルカ如キコトハ産業組合本來ノ目的ニ反スルノミナラス其ノ健全ナル發達ヲ期スル上ニ於テ支障不尠甚タ遺憾ノ儀ニ付嚴重御督勵相成様致度尙産業組合資金ノ管理運用ニ當リテハ出來得ル限り系統機關ヲ利用スヘキハ勿論ナルモ多數組合中ニハ未タ其ノ趣旨徹底セス徒ニ金利ノ高率ナルニ

訓令、通牒及處分例



走り又ハ情實ニ依リ預金ヲ爲スカ如キモノ不尠ル様認メラルルニ付テハ此ノ際特ニ過誤ナカラシムル様可然御督勵相成度此段及通牒候也

### 五 昭和三年度耕地整理事業及産業組合

#### 地方資金融通條件ニ關スル件

昭和四年一月七日  
四農第六五號

首題ノ件ニ關シテハ十月十五日附三農第七、七二五號ヲ以テ及通牒置候處耕地整理事業資金及産業組合事業資金中自作農創設維持ノ爲ニ融通スル資金ニ付テハ今回大藏省ト協議ノ上地方長官ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ本資金取扱銀行ト協議シ地方長官ニ限リテ之カ償還期限ヲ三十箇年以内ト爲スコトニ取扱ヒ農林、大藏兩大臣ノ承認ハ之ヲ省略スルコトニ決定致候條右御了知ノ上取扱上遺憾ナキヲ期セラレ度此段及通牒候也

### 五 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法

#### ニ關スル件

昭和七年十一月十九日七更部第一五二號

經濟更生部長  
銀行局長

#### 産業組合中央會頭宛

今般政府カ産業組合中央金庫特別融通及損失補償法ニ依リ産業組合中央金庫ヲシテ特別融通ヲ爲サシメ之カ損失ヲ補償セントスル所以ノモノハ之ニ依リテ信用組合聯合會又ハ信用組合ノ固定セル債權ヲ資金化シテ金融ノ疏通ヲ圖リ以テ信用組合聯合會又ハ信用組合ヲシテ時局匡救ノ任ニ當ラシメントスルニ有之貴會ニ於テモ能ク各地支會ヲ指導シ法律所期ノ目的達成ノ爲御助力相成様此段及通牒候也

### 五 預金部普通地方資金融通規則實施取扱規程

#### 第一章 道、府縣、六大都市、水利組合及北海道土功組合

第一條 地方長官預金部普通地方資金融通規則(以下融通規則ト稱ス)第六條第一項ノ規定ニ依ル預金部資金借入申込書ノ提出ヲ受ケタルトキハ特ニ本資金ヲ必要トスルモノニ付其ノ年度内ニ融通スルヲ適當ト認ムル金額ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ毎年五月三十一日迄ニ融通規則第二條第一號及第二號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及內務大臣ニ、同第預金部普通地方資金融通規則實施取扱規程



二條第三號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及農林大臣ニ進達スヘシ

第二條 大藏大臣ハ内務大臣又ハ農林大臣ト協議ノ上本資金ノ割當額ヲ決定スルモノトス  
其ノ割當額ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第三條 前條ノ規定ニ依リ割當額ノ決定アリタルトキハ内務大臣又ハ農林大臣ハ之ヲ地方  
長官ニ通知スルモノトス

地方長官前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ當該道、府縣、六大都市、水利組合又ハ北海  
道土功組合ニ通知スヘシ

第四條 地方長官融通規則第七條第一項ノ規定ニ依ル預金部資金供給稟請書ノ提出ヲ受ケ  
タルトキハ遲滯ナク之ヲ融通規則第二條第一號及第二號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及内  
務大臣ニ、同第二條第三號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及農林大臣ニ進達スヘシ

第五條 大藏大臣ハ内務大臣又ハ農林大臣ト協議ノ上本資金ノ決定ヲ爲スモノトス但シ起  
債ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其ノ許可アリタルコトヲ要ス

第六條 前條ノ規定ニ依リ供給決定アリタルトキハ内務大臣又ハ農林大臣ハ之ヲ地方長官  
ニ通知スルモノトス

地方長官前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ當該道、府縣、六大都市、水利組合又ハ北海  
道土功組合ニ通知スヘシ  
資金ノ供給ヲ受クルモノ水利組合又ハ北海道土功組合ナル場合ニ於テハ前二項ノ外大藏

大臣ハ資金供給取扱銀行ニ對シ本資金ノ供給決定アリタルコトヲ通知スルモノトス

第二章 六大都市以外ノ市町村、市町村組合及町村組合

第七條 地方長官六大都市以外ノ市町村、市町村組合及町村組合ヨリ融通規則第六條第一  
項ノ規定ニ依ル預金部資金借入申込書ノ提出ヲ受ケタル場合ノ取扱手續ニ付テハ第一條  
ノ規定ニ依ル

第八條 預金部支部長融通規則第六條第二項ノ規定ニ依ル預金部資金借入申込書ノ提出ヲ  
受ケタルトキハ特ニ本資金ヲ必要トスルモノニ付其ノ年度内ニ融通スルヲ適當ト認ムル  
金額ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ毎年五月三十一日迄ニ大藏大臣ニ進達スヘシ

第九條 六大都市以外ノ市町村、市町村組合及町村組合ノ借入申込ニ對スル本資金ノ割當  
手續ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル

第十條 前條ニ依リ割當額ノ決定アリタルトキハ大藏大臣ハ之ヲ預金部支部長ニ、内務大  
臣又ハ農林大臣ハ之ヲ地方長官ニ通知スルモノトス

預金部支部長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ當該市町村、市町村組合又ハ町村組合ニ  
通知スヘシ但シ預金部支部ノ出張所ノ設アル區域ニ於テハ同出張所ヲ經由シテ之ヲ通知  
スヘシ

第十一條 預金部支部長融通規則第七條第二項ノ規定ニ依ル預金部資金供給稟請書ノ提出  
ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ融通規則第二條第一號及第二號ノ資金ニ在リテハ大藏大  
預金部普通地方資金融通規則實施取扱規程



臣及内務大臣ニ、同第二條第三號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及農林大臣ニ進達スヘシ  
預金部支部ノ出張所長融通規則第七條第二項ノ規定ニ依ル預金部資金供給稟請書ノ提出  
ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ預金部支部長ニ進達シ預金部支部長ハ遲滞ナク之ヲ融通  
規則第二條第一號及第二號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及内務大臣ニ、同第二條第三號ノ  
資金ニ在リテハ大藏大臣及農林大臣ニ進達スヘシ

第十二條 六大都市以外ノ市町村、市町村組合及町村組合ニ對スル本資金ノ供給決定ニ關  
スル手續ニ付テハ第五條ノ規定ニ依ル

第十三條 前條ノ規定ニ依リ供給決定アリタルトキハ大藏大臣ハ之ヲ預金部支部長ニ、内  
務大臣又ハ農林大臣ハ之ヲ地方長官ニ通知スルモノトス

預金部支部長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ當該市町村、市町村組合又ハ町村組合ニ  
通知スヘシ但シ預金部支部ノ出張所ノ設アル區域ニ於テハ同出張所ヲ經由シテ之ヲ通知  
スヘシ

第三章 地方公共團體、水利組合及北海道土功組合以外ノ者

第十四條 地方長官融通規則第八條ノ規定ニ依ル預金部資金借入申込書ノ提出ヲ受ケタル  
トキハ特ニ本資金ヲ必要トスルモノニ付其ノ年度内ニ借入ヲ要スヘキ金額ヲ記載シタル  
書類ヲ添附シ之ヲ毎年五月三十一日迄ニ融通規則第二條第二號ノ資金ニ在リテハ大藏大  
臣及内務大臣ニ、同第二條第三號乃至第七號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及農林大臣ニ、

同第二條第八號乃至第十號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及商工大臣ニ進達スヘシ

第十五條 大藏大臣ハ内務大臣、農林大臣又ハ商工大臣ト協議ノ上本資金ノ割當額ヲ決定  
スルモノトス其ノ割當額ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第十六條 前條ノ規定ニ依リ割當額ノ決定アリタルトキハ内務大臣、農林大臣又ハ商工大  
臣ハ之ヲ地方長官ニ通知スルモノトス

第十七條 地方長官前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ銀行其ノ他ノ經由機關ト協議シ該割當額  
ノ範圍ニ於テ本資金ノ供給決定ヲ爲スヘシ

第十八條 地方長官前條ノ規定ニ依リ供給決定ヲ爲シタルトキハ附屬様式ニ依リ其ノ都度  
融通規則第二條第二號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及内務大臣ニ、同第二條第三號乃至第  
七號ノ資金ニ在リテハ大藏大臣及農林大臣ニ、同第二條第八號乃至第十號ノ資金ニ在リ  
テハ大藏大臣及商工大臣ニ經由機關別ニ之ヲ報告スヘシ

第十九條 地方長官本資金ノ供給決定ヲ爲シタル後之カ變更ヲ爲サントスル場合ノ手續ニ  
付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本規程ハ昭和七年十二月十六日ヨリ之ヲ施行ス

預金部普通地方資金貸付規程ハ之ヲ廢止ス

預金部普通地方資金貸付規程ニ依リテ爲シタル割當其ノ他ノ行爲ハ本規程ニ依リテ之ヲ爲

預金部普通地方資金融通規則實施取扱規程